

田原本町
第 5 次総合計画策定に関する
住民アンケート調査報告書

令和 8 年 3 月

田原本町

1 アンケート調査の概要

1-1 調査の目的

田原本町第5次総合計画策定に向けて、町民の生活状況、現在の満足度、今後のまちづくりに対する期待やニーズを把握するため、本調査を実施しました。

1-2 調査概要

- 調査対象者：町民 2000 人
- 調査期間：令和7年9月12日～令和7年10月6日
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による記入／Web フォームによる回答

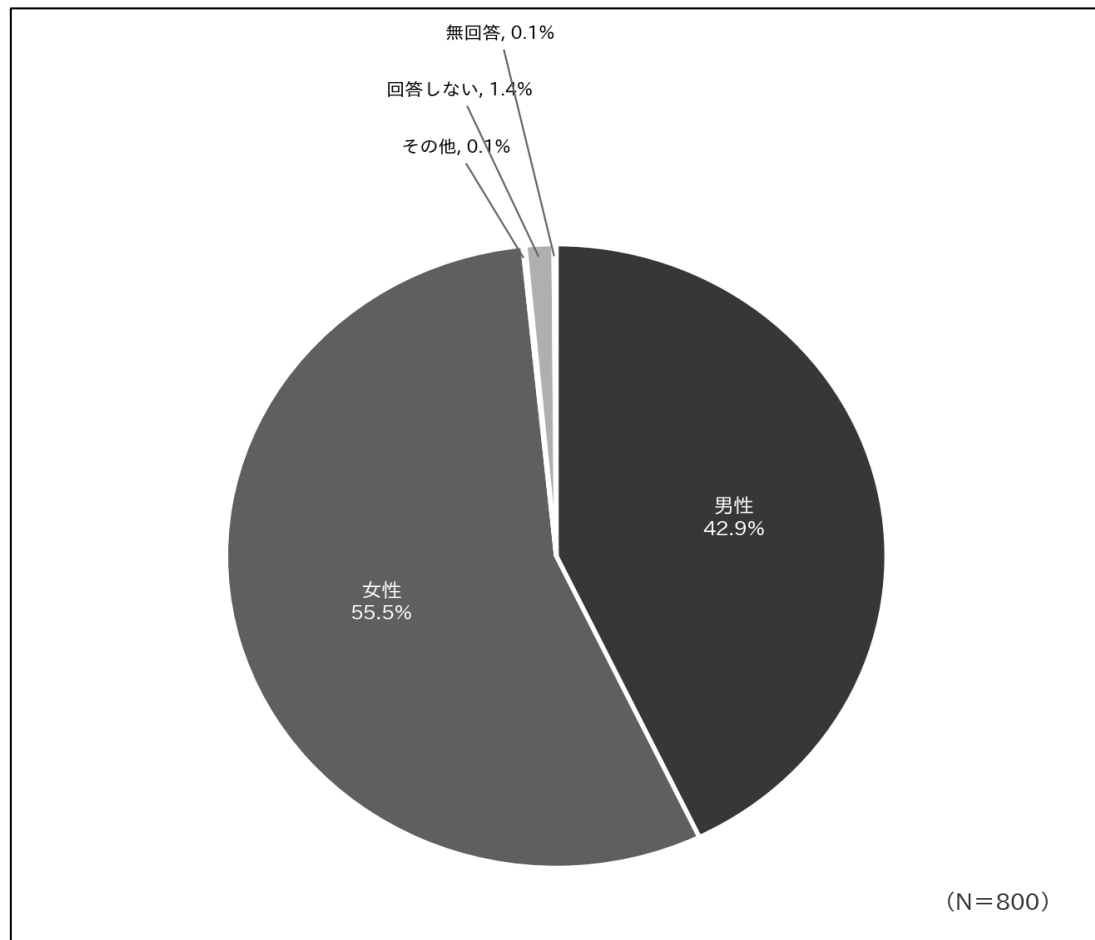
1-3 回収結果

- 配布数：2000 件
- 有効回収数：800 件
- 有効回収率：40%

2 アンケート調査結果

2-1 あなた自身のことについて

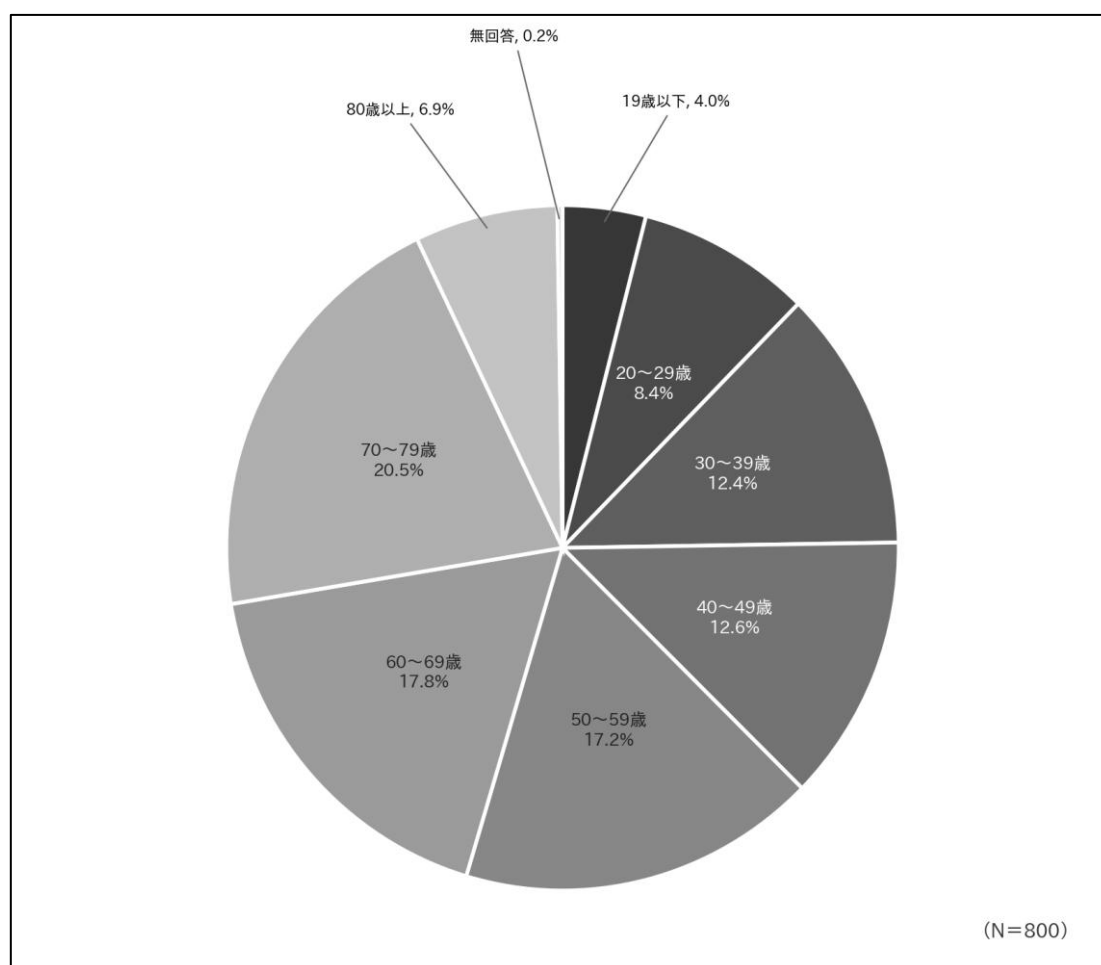
Q1 あなたの性別はどちらですか。（いずれか1つを選択）



女性の回答がやや多い

回答者の性別は、「女性」が55.5%、「男性」が42.9%となっており、女性の回答がやや多い。

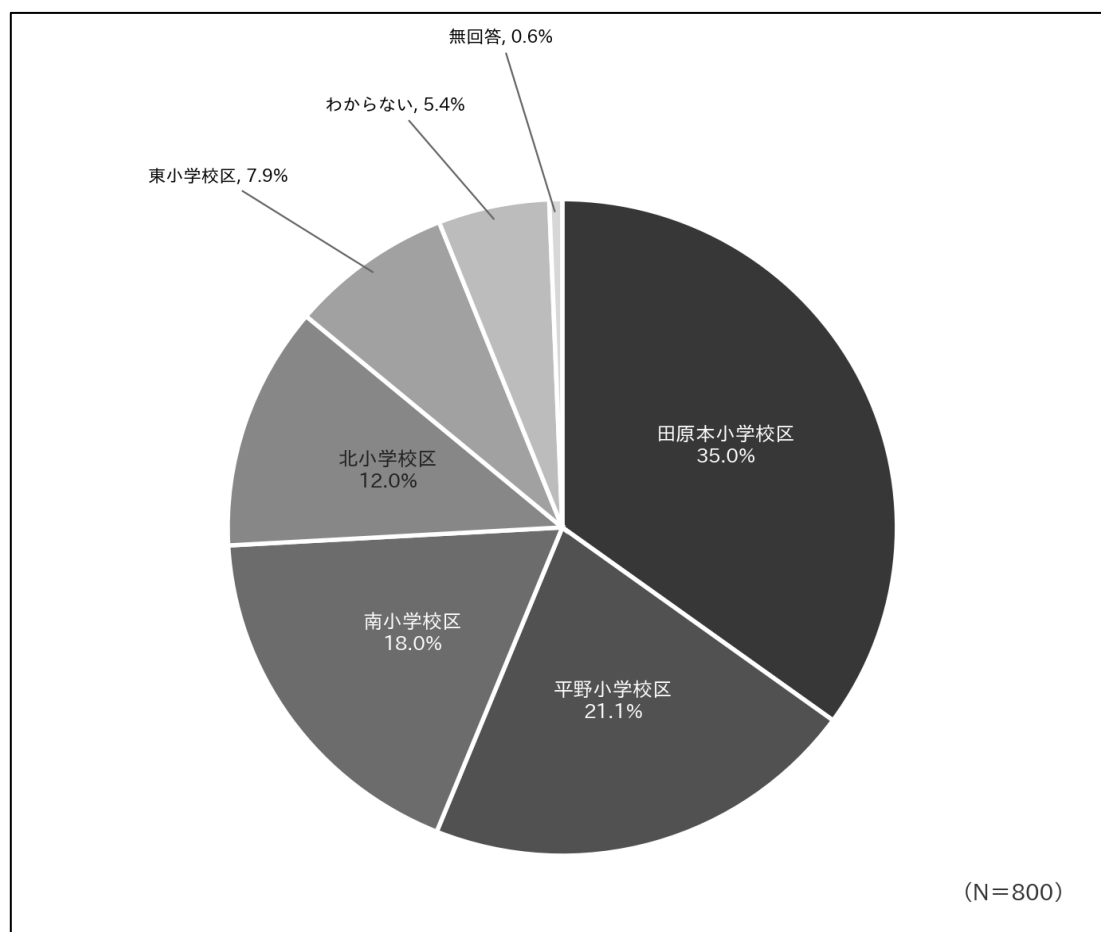
Q2 あなたの年齢はどの階層に属しますか。（いずれか1つを選択）



約6割が50歳以上の年配世代

回答者のうち「70～79歳」が20.5%と最も高い割合を占めており、次いで「60～69歳」（17.8%）、「50～59歳」（17.2%）と、中高年層・高齢層の意見が強く反映されている。「30～39歳」（12.4%）、「40～49歳」（12.6%）の子育て世代からの回答も全体の約4分の1を占めており、幅広い世代の意見が反映されている。

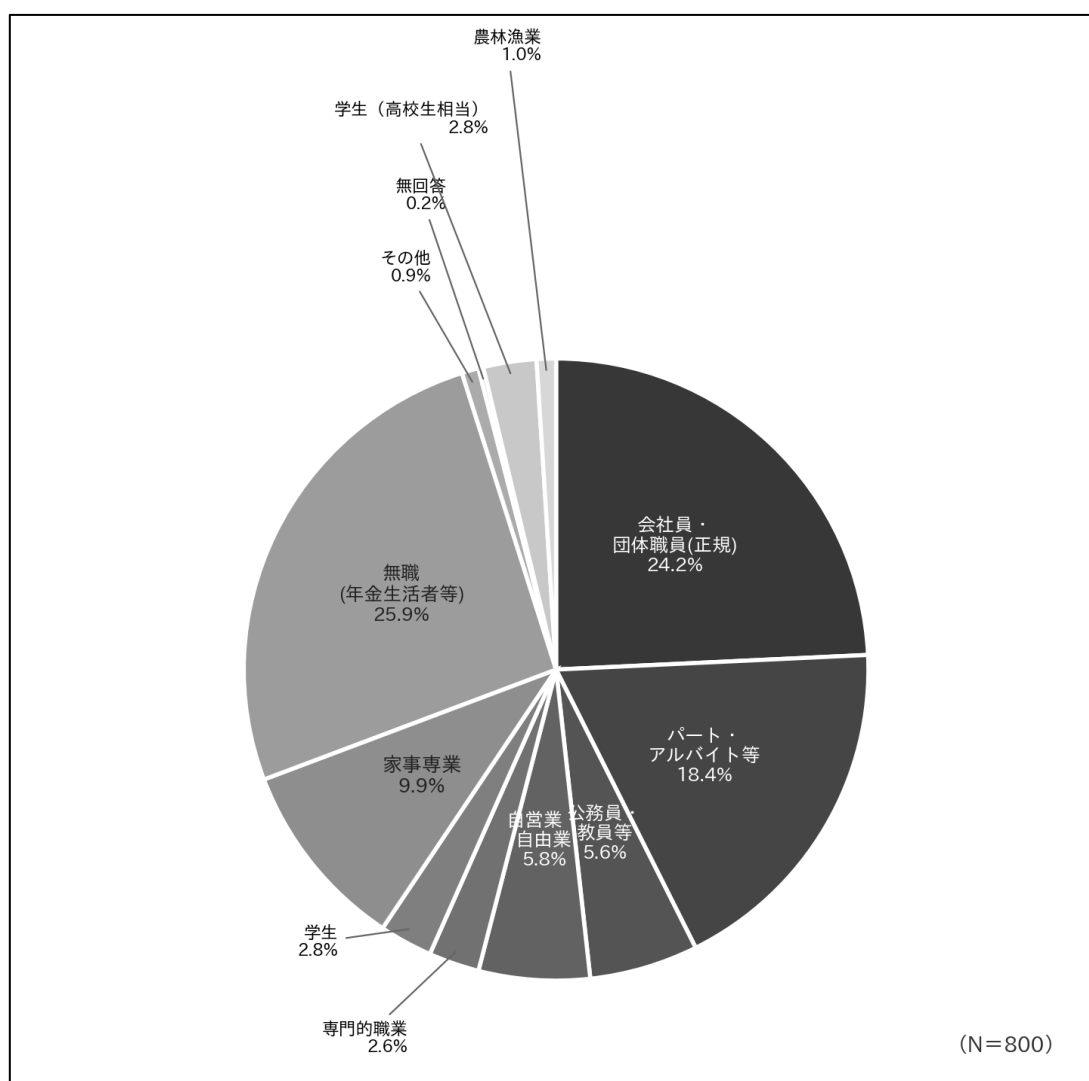
Q3 あなたのお住まいは、どの小学校区ですか。（いずれか1つを選択）



約4割が田原本小学校区

回答者の居住地区は「田原本小学校区」が全体の35.0%、次いで「平野小学校区」が21.1%を占め、この2地区から全体の半数以上（56.1%）の回答が集まっている。一方で、「東小学校区」が7.9%、「北小学校区」が12.0%と、回答率に偏りが見られる。

Q4 あなたの主な職業(兼業の方は収入の多い方)は何ですか。(いずれか1つを選択)



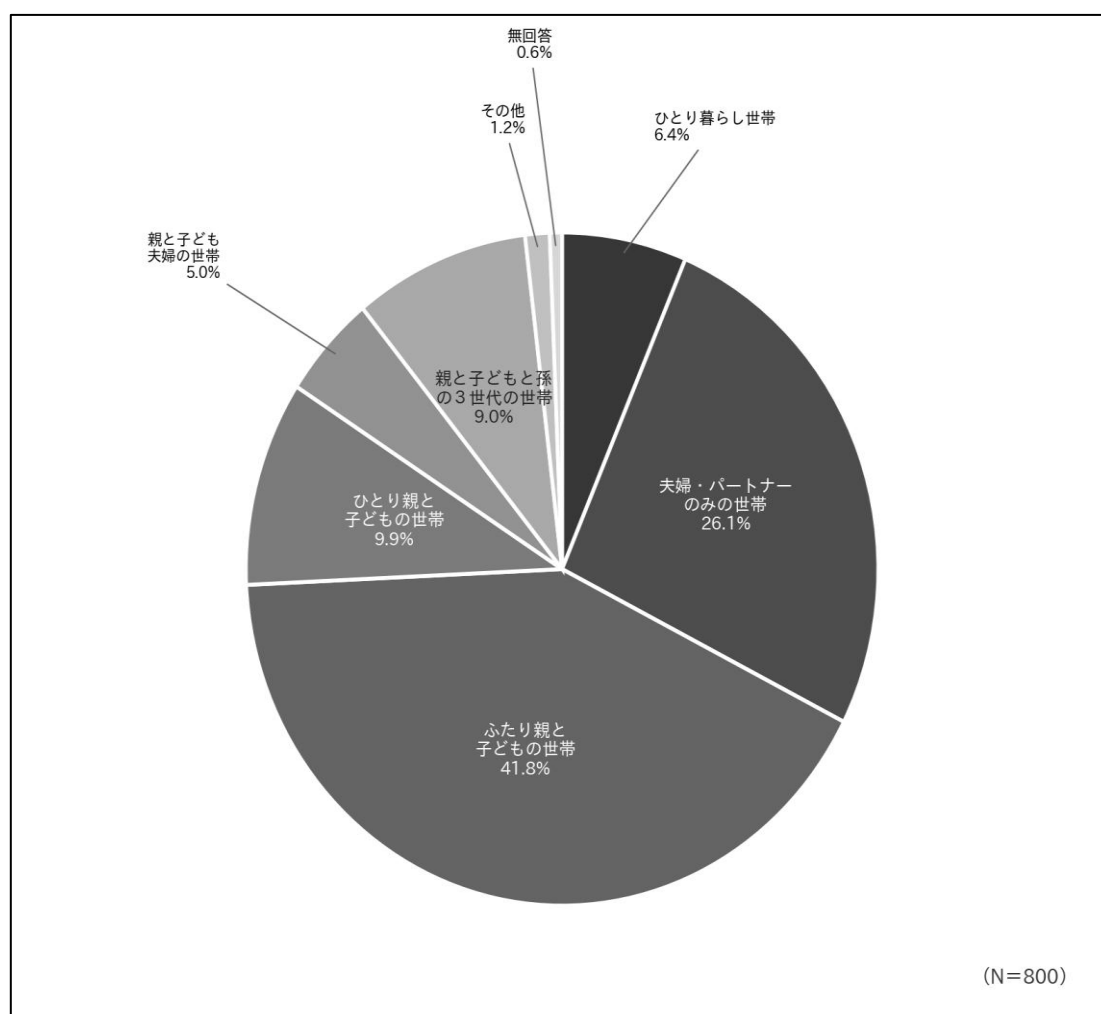
「その他」の回答

会社役員／僧侶／就労支援 B 型利用者／内職／求職活動中

無職・年金生活者が約 4 分の 1

最も多かった回答は「無職（年金生活者等）」で、全体の 25.9%を占めている。次いで「会社員・団体職員（正規）」24.3%。さらに「パート、アルバイト、契約社員、派遣社員等」と「家事専業」を正規の会社員・団体職員と合わせると現役世代の回答者も多いことが分かる。

Q5 あなたの世帯はどれにあてはまりますか。（いずれか1つを選択）



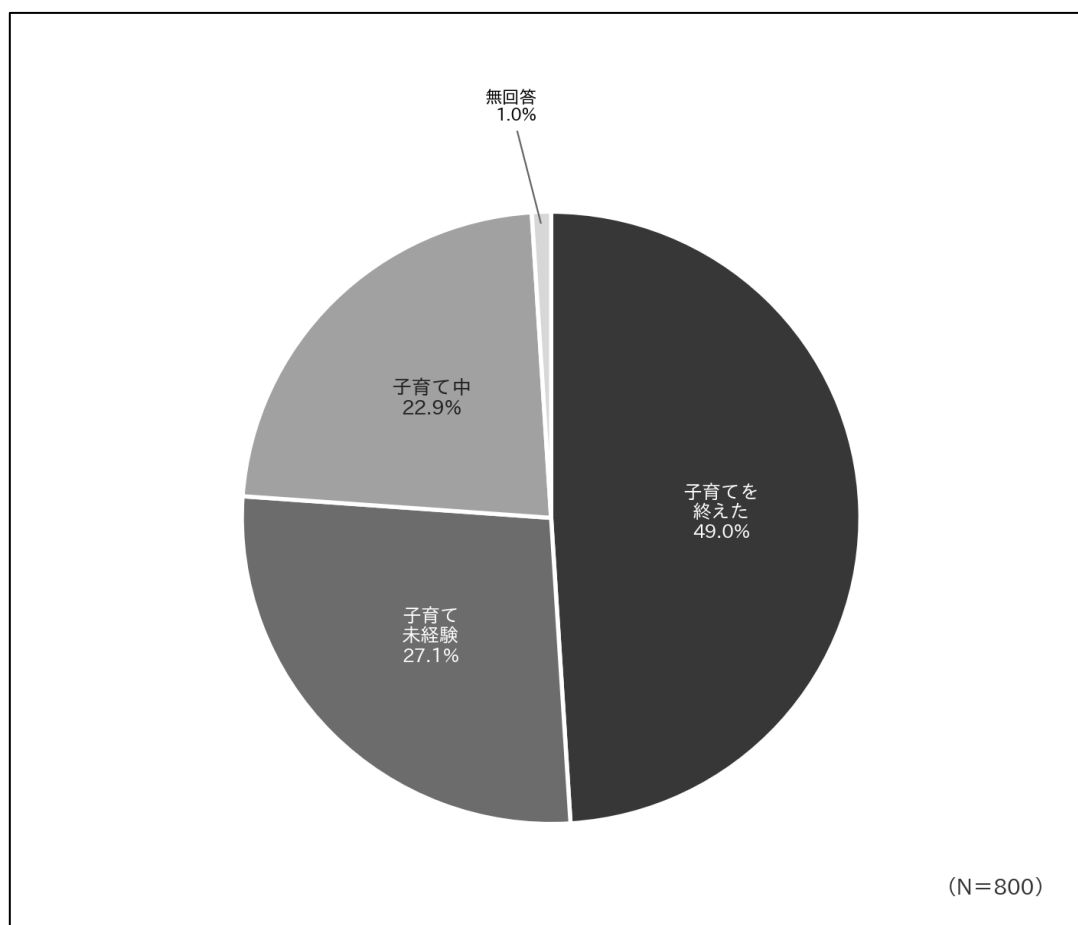
「その他」の回答

2世帯5人／嫁、弟／兄と妹／二人暮らし／兄の子ども夫婦及び子どもと同居／兄弟姉妹／夫婦と孫の3人／別居中で子ども・祖父母と叔父の世帯

約4割が親子世帯

「ふたり親と子ども（年齢問わず）の世帯」が41.8%と全体の4割以上を占めており、子育て世帯からの回答が多かった。「夫婦・パートナーのみの世帯」が2番目に多い26.1%で、全体の約4分の1を占めている。この世帯は、若年層から高齢層まで幅広く含まれる可能性があり、子育てを終えた世帯や、高齢の夫婦のみの世帯への生活支援、健康維持、地域交流といった幅広いニーズがあると考えられる。

Q6 あなたの現在の状況に最も近いものを選んでください。（いずれか1つを選択）

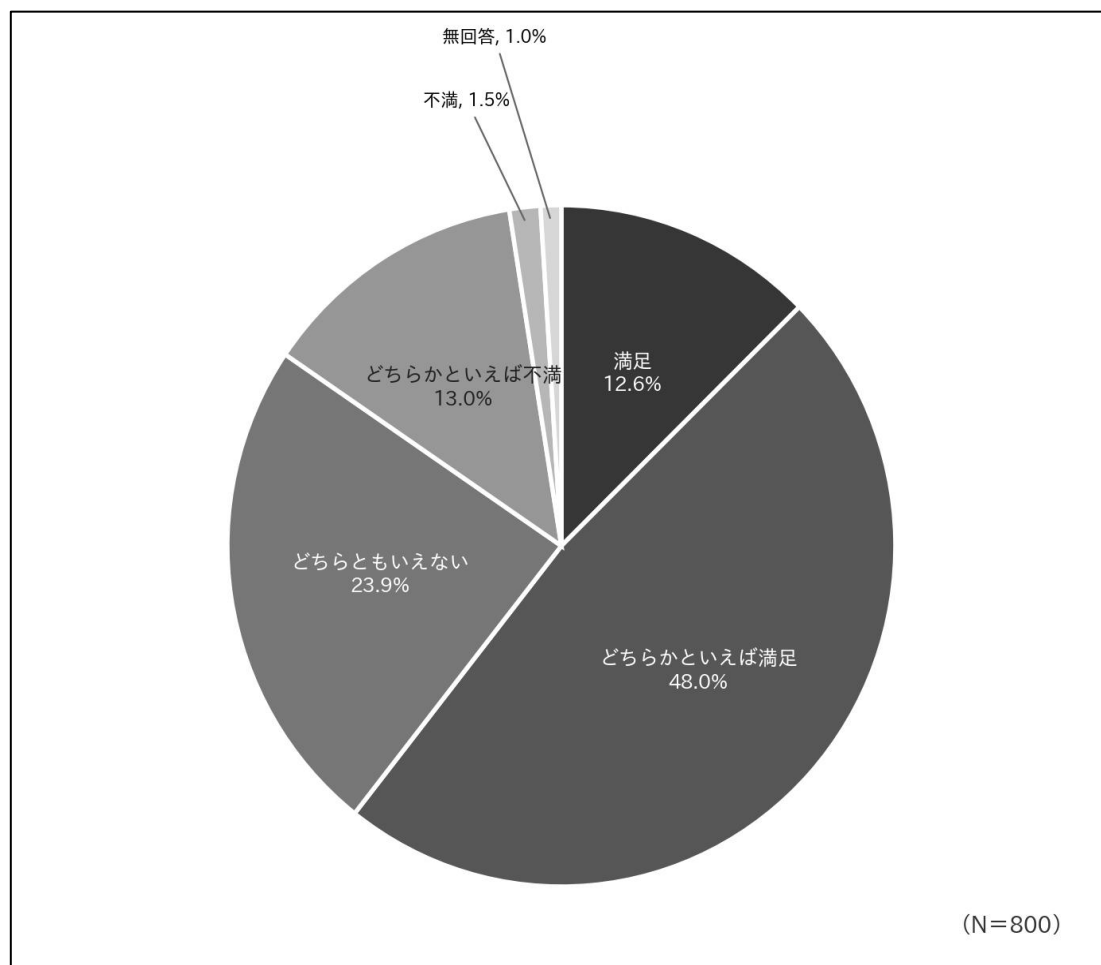


約49%が子育てを終えた層

回答者の約49.0%が子育てを終えた層であり、現役の子育て層と子育て未経験層が約4分の1ずつとなっている。子育てを終えた層の生活の質を維持・向上させる施策と、現役子育て層を支援し定住を促す施策、そして子育て未経験層を含めた多様な住民ニーズに対応する施策のバランスが重要になる。

2-2 田原本町の暮らしやすさについて

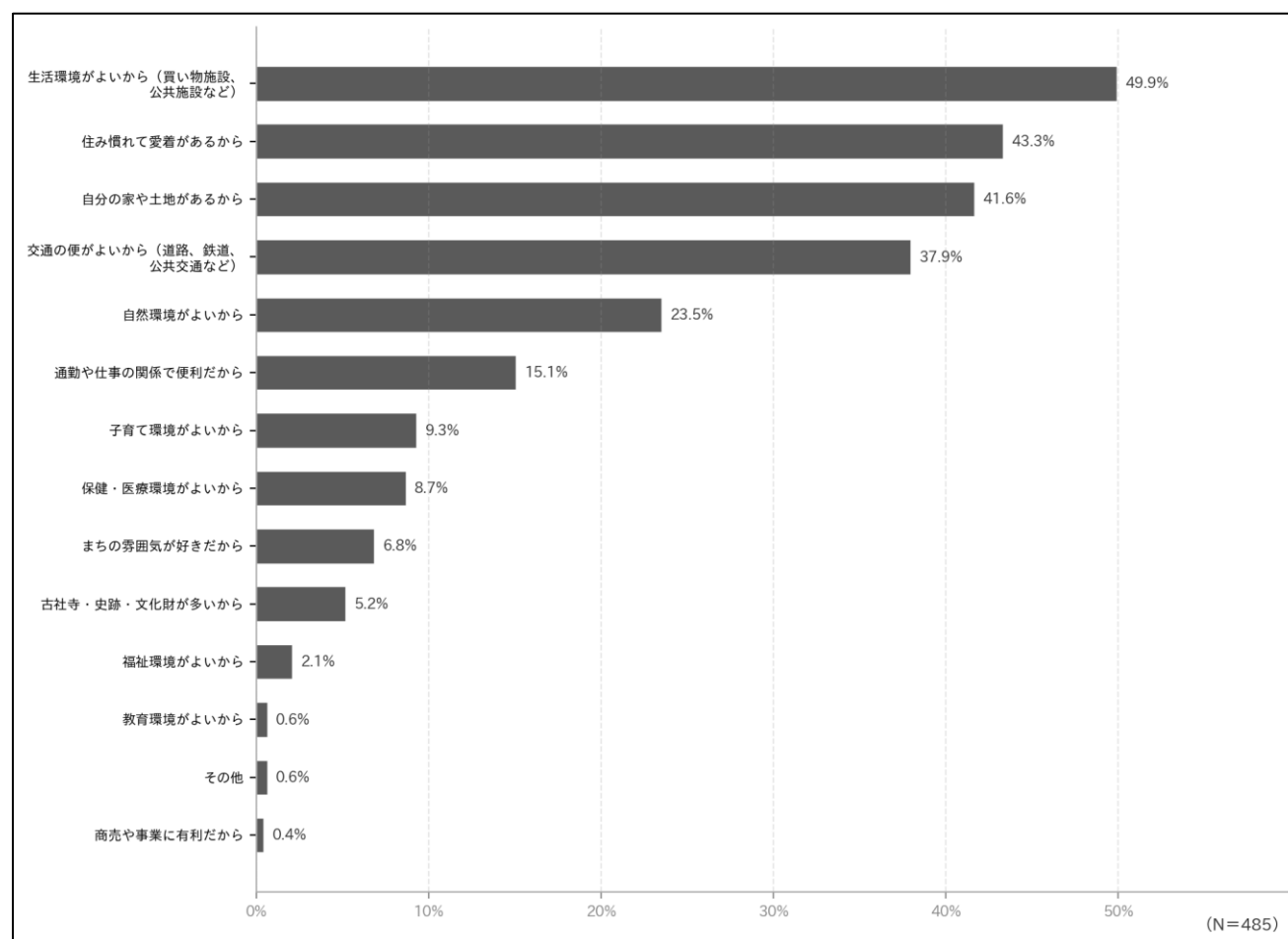
Q7 田原本町での現在の暮らしやすさをどのように感じていますか。（いずれか1つを選択）



約6割が暮らしやすさに肯定的

「満足」＋「どちらかといえば満足」の60.6%の町民が、現在の田原本町での暮らしやすさに肯定的な評価をしている。「どちらかといえば不満」＋「不満」と回答した不満層は少数だが、この層が感じている具体的な課題を把握し、対応することが重要。一方で約4分の1の町民がどちらともいえないと回答しており、今後の施策によって満足度を高める余地がある層と考えられる。

Q8 Q7で「満足」、「どちらかといえば満足」とお答えの方におたずねします。その理由は何ですか。（3つまで選択）



「その他」の回答

駅までは少し遠いが、それなりに暮らしやすい。／町内でも子供にとっては広すぎるため、全てにおいて親が車での送迎が必要になる件を解消する働き。／災害がない／治安が悪くないから

「生活の利便性」と「定住への思い入れ」が上位に

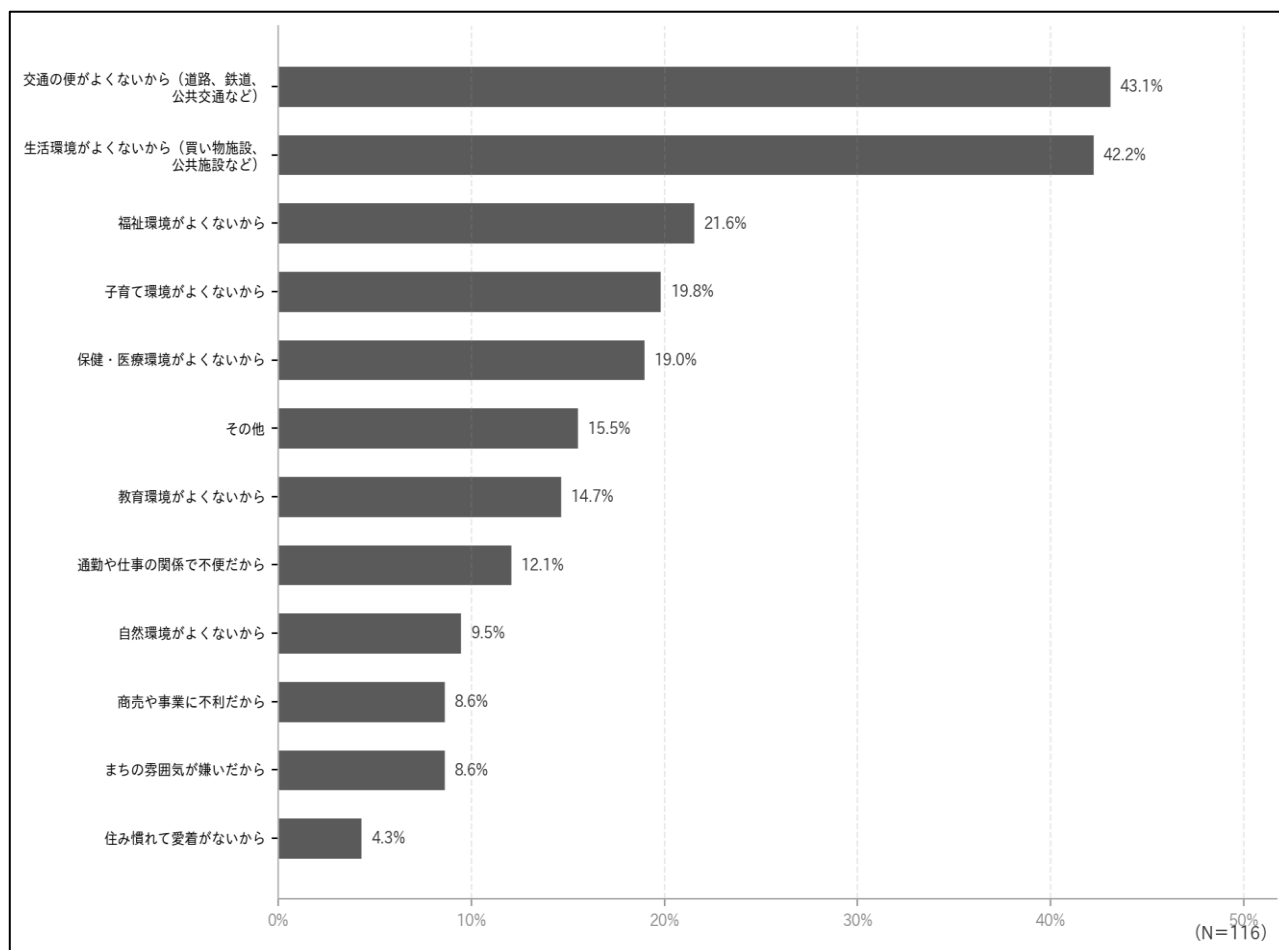
生活環境がよいから（買い物施設、公共施設など）が49.9%と最も高く、次いで「住み慣れて愛着があるから」、「自分の家や土地があるから」が僅差が続いている。長年の居住による地域への愛着や、持ち家・土地という経済的な要因が、強い満足感につながっていることがわかる。

行政サービス関連を選択する住民が少ない

「子育て環境がよいから」「保健・医療環境がよいから」「福祉環境がよいから」「教育環境がよいから」といった行政サービスや特定の分野に関する満足理由は、総じて10%未満と低い水準に留

まっている。生活の基本的な利便性や個人の定住要因に比べ、これらの分野に対する満足度が相対的に低いか、これらの分野を「満足の主な理由」として挙げる住民が少ないことがわかる。満足度をさらに向上させるためには、これらの行政サービス分野の充実が課題となる可能性がある。

Q9 Q7で「どちらかといえば不満」、「不満」とお答えの方におたずねします。その理由は何ですか。（3 つまで選択）



「その他」の回答

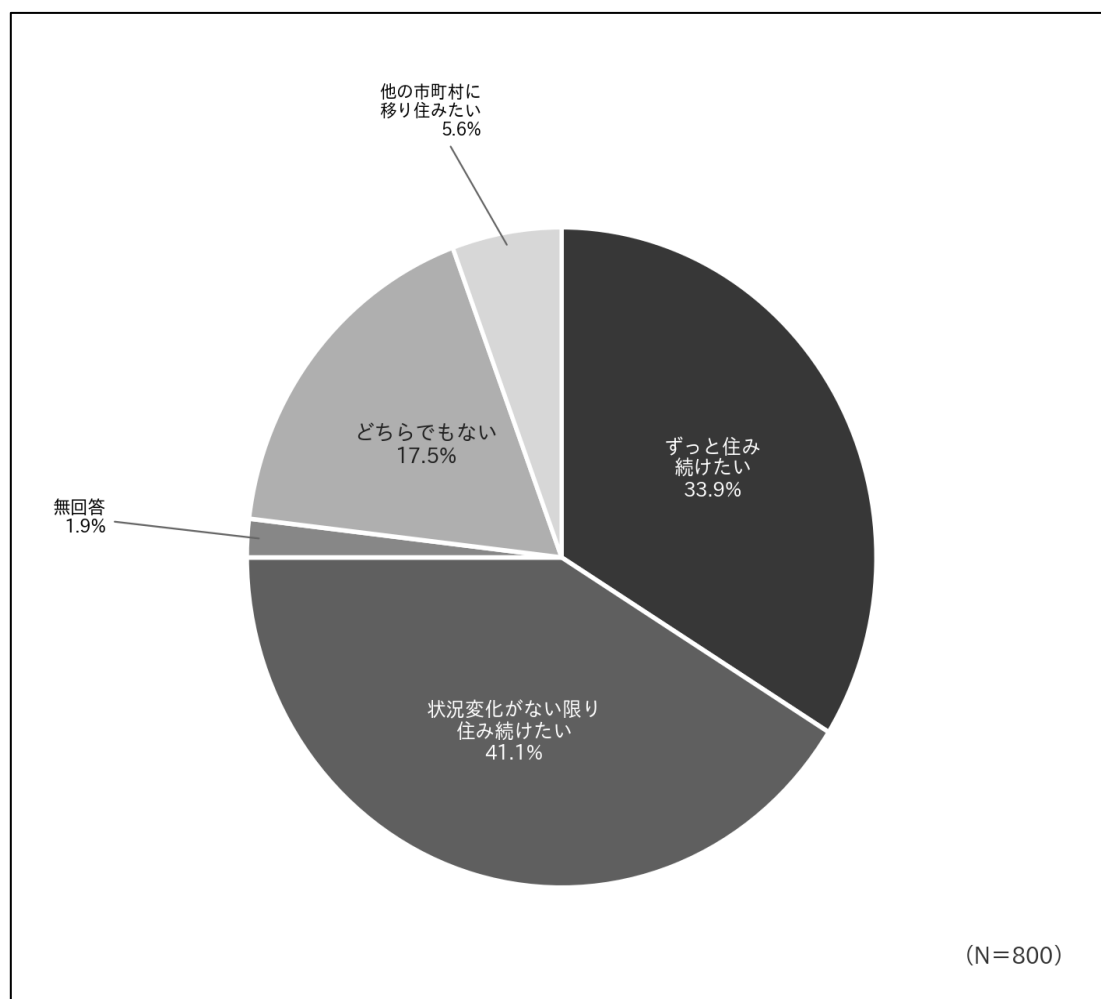
駅前～東側にかけて、屋根が崩れてきそうな建物が多く、かなり危険に感じます。／下水道が通っていない、工事されていない。／家電量販店や 24 時間営業の店が町内にない／街灯が少なくて危ない／議員数が多い／財政難、無駄使いが多い。／自治会の行事が多い／住民税が高い。／水道水が良くない。／税金（住民税 etc.）が高い。／移住してくる時、注文住宅購入には、補助金が降りなかったことが不満です（建売は補助あり、利権ですか？）／駅前周辺の飲み屋駐車場に停めている車が町道にはみ出して停めている。道路占用許可・道路使用許可を町として認めているのか？／財政難／子育てに力を入れるのはわかるが、年寄りには優しくない町。しかも、他の市町村に比べて生活クーポンが無い。／税金が高い・健康保険が高い／地域の清掃活動に身体疾患等で参加できない場合にお金を取られる／町の体制・財政／田原本町は、障がい者福祉に力を入れていないので／電子図書がないこと／無駄が多い(あまり重要と思われない所にお金を使っている)、ゴミもポイ捨てが多いにも関わらず行政として何の対策も講じていない。／空家多し。雑林放置、安全を感じられない。一帯が会社及び工業地帯へ変化しトラックの往来多く住居への排ガス国道危険。音への被害、振動。国道は狭い。田畑が工業地帯に侵され風景もなくなった。災害時の不安を感じます。町内での避

難場所や備蓄についてなど「会報」に毎回掲載すべき！子供目線の内容に特化しすぎて高齢者のこと災害網を求む。

「交通の便」と「生活環境」への不満が二大要因

「交通の便がよくないから（道路、鉄道、公共交通など）」が43.1%で最も多く、公共交通機関、道路状況、またはその両方に大きな課題を感じている住民が一定数いることがわかる。「生活環境がよくないから（買い物施設、公共施設など）」も2番目に多く、日常生活に必要な施設（特に買い物施設）の不足や利便性の低さが、不満に直結していると考えられる。

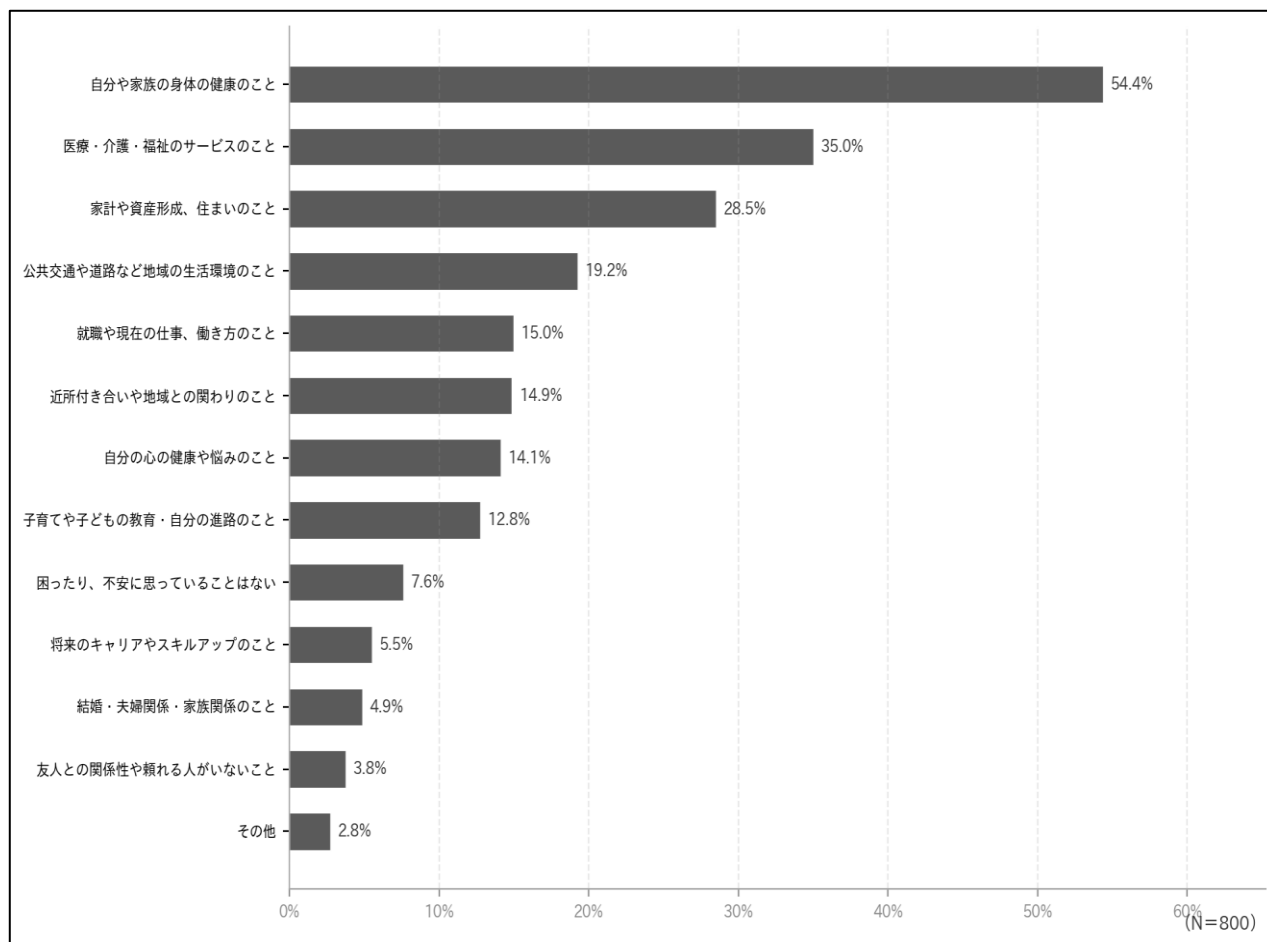
Q10 あなたは、今後も田原本町に住み続けたいと思いますか。（いずれか1つを選択）



約 75%が定住以降を持つ

「ずっと住み続けたい」（33.9%）と、「自身の状況の変化（転勤等）がない限り住み続けたい」（41.1%）を合わせると、75.0%の住民が田原本町への定住意向を持っていることが分かった。現在の町の環境や暮らしやすさに対する一定の満足度を示唆していると考えられる。特に「自身の状況の変化がない限り住み続けたい」という回答が最も多く、現状維持を望む層が厚いことがわかる。

Q11 あなたが日常生活の中で困ったり、不安に思ったりしていることは何ですか。（3 つまで選択）



「その他」の回答

これから起こりうる事象全てを甘んじて受け入れる覚悟です。／せっかく環境が良いのに街路灯がほとんど無いに等しい。これでは安心安全な町とは言えない。／移民政策、移民による犯罪／自分の老後の生活費／障害者は暮らしにくい。歩道がない、段差が多い。／整形外科、耳鼻科、ちゃんと見てくれる先生が欲しいです。／税金を払っているのにごみ収集に来ない。地区のごみステーションを利用するには、8万円払えと総代がいう。8万円払ったらポケットマネーにするに違いない。他の地区には、ごみ収集場に無料でゴミ出ししている。税金払い、優良ごみ袋代金払ってるのにおかしい。／隣家が崩れる恐れあり／老後の生活／夏暑すぎる／近くに商業施設が無い。一度に買い物できる所がスーパーセンターオークワしかなく、車で20～30分走らないと無いので不便。／近隣企業の騒音／自分の将来について／若者や外国人による治安の悪さ／周囲に高齢の方ばかり／水道代が他の地域に比べて高い／税負担の公平性を感じない／土手などのゴミが多過ぎる。／年金でどこまで生活できるか／老後

「健康」に関する不安が圧倒的最多

「自分や家族の身体の健康のこと」が、他の項目を大きく引き離して最多。全世代を通じて、特に高齢化が進む地域において、健康維持に対する関心と不安が高いことを示唆している。2位の「医療・介護・福祉のサービスのこと」も、健康と密接に関連しており、町民が「安心して暮らせる医療・介護体制」の確保に強いニーズを持っていることがわかる。

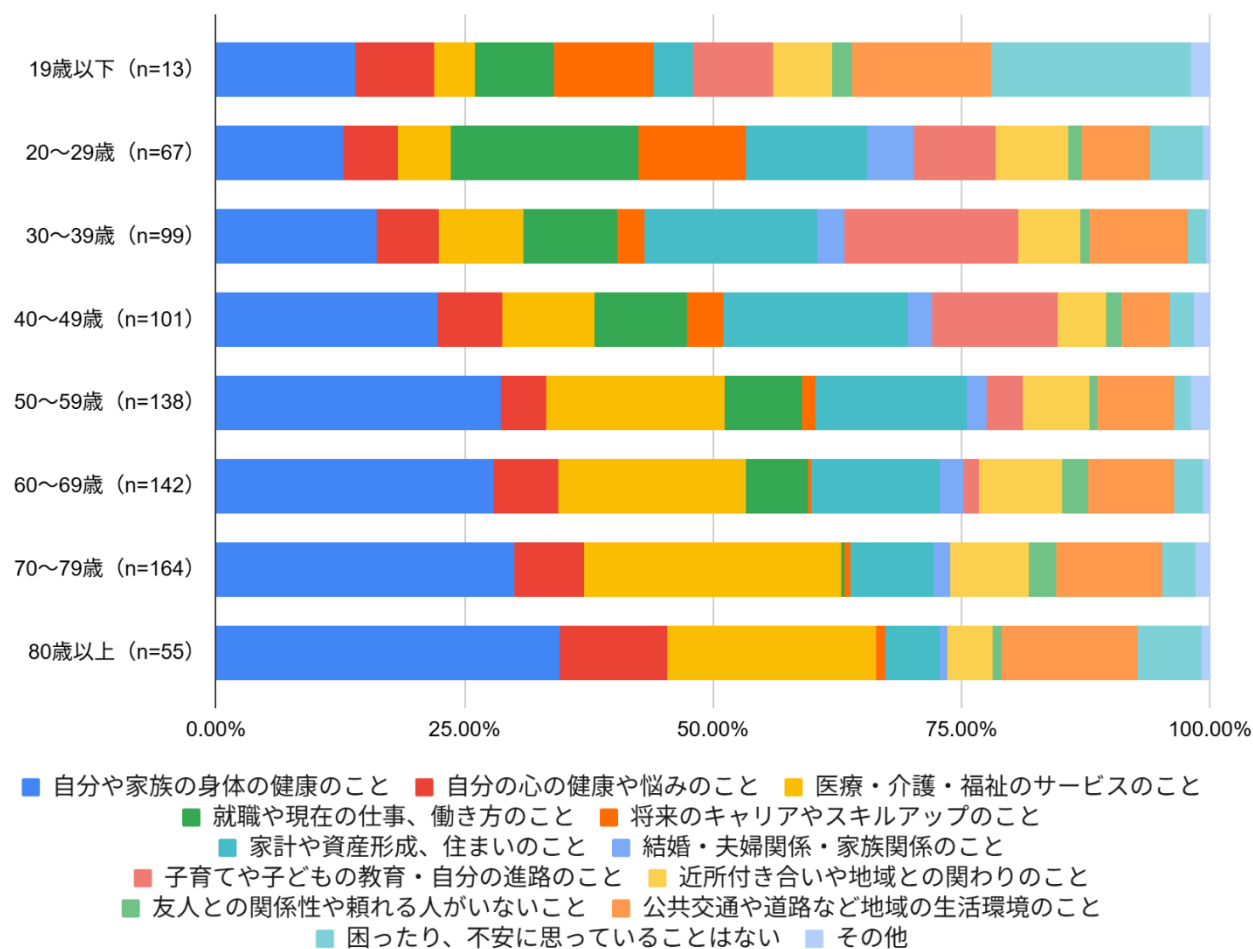
経済的な課題と生活環境への不安

3位の「家計や資産形成、住まいのこと」は、物価高や将来への経済的な不安が生活に影を落としている実態を反映している。4位の「公共交通や道路など地域の生活環境のこと」は、日常の移動手段やインフラの利便性・維持管理が重要な課題であることを示している。

社会的なつながりについての課題

「就職や現在の仕事、働き方のこと」と「近所付き合いや地域との関わりのこと」が同水準で高いことは、生活の安定と社会的なつながりの両面で課題を感じている人が多いことを示唆している。

Q11 年齢別クロス



19 歳以下 (n=13)	7	4	2	4	5	2	0	4	3	1	7	10	1
20～29 歳 (n=67)	19	8	8	28	16	18	7	12	11	2	10	8	1
30～39 歳 (n=99)	36	14	19	21	6	39	6	39	14	2	22	4	1
40～49 歳 (n=101)	55	16	23	23	9	46	6	31	12	4	12	6	5
50～59 歳 (n=138)	88	14	55	24	4	47	6	11	21	2	24	5	6
60～69 歳 (n=142)	84	20	57	19	1	39	7	5	25	8	26	9	2
70～79 歳 (n=164)	107	25	92	1	2	30	6	0	28	10	38	12	5
80 歳以上 (n=55)	38	12	23	0	1	6	1	0	5	1	15	7	1

若年層（10 代～40 代）の主な関心事

若年層、特に 10 代から 40 代では、将来の生活基盤やキャリアに関する不安の割合が高くなってい

ます。「家計や資産形成、住まいのこと」：20代（12.2%）から40代（18.6%）にかけて高い割合を示し、特に30代・40代で最大の不安項目の一つとなっています。これは、住宅取得や子育てに伴う経済的な負担が大きいことを示唆しています。「子育てや子どもの教育・自分の進路のこと」：30代（17.5%）と40代（12.6%）で突出して高く、現役子育て世代の悩みであることが明確です。「就職や現在の仕事、働き方のこと」：20代（18.9%）で最も高く、次いで30代・40代・50代でも一定の割合（約6%～9%）を占めており、労働市場やキャリアに関する不安が広範に存在していることがわかります。

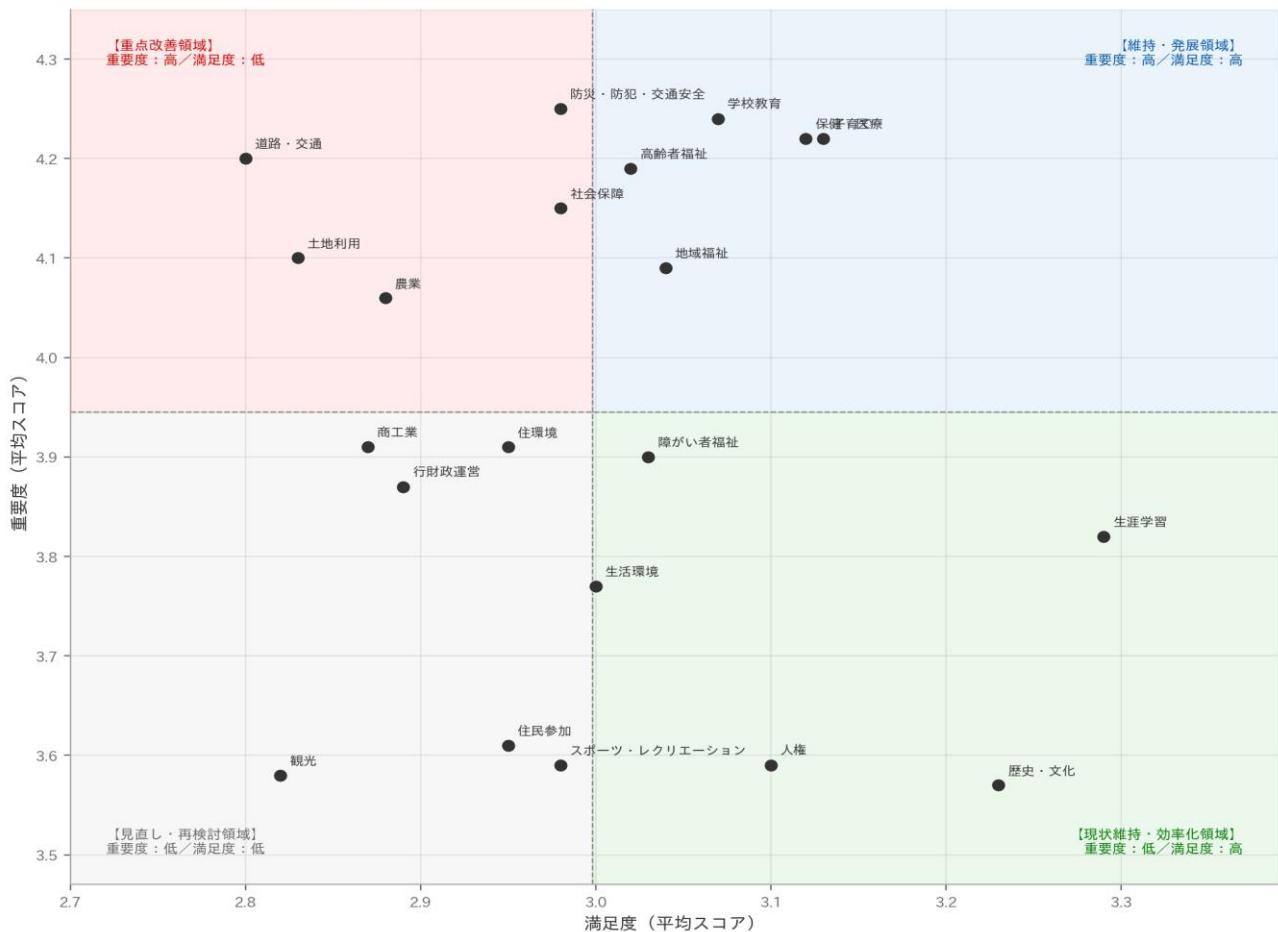
中高年層（50代以上）の主な関心事

50代以上では、健康や地域生活を支えるインフラ・サービスに関する不安が中心となっています。「自分や家族の身体の健康のこと」：年齢が上がるにつれて割合が上昇し、70代（30.1%）と80歳以上（34.5%）で最大の不安項目となっており、全世代を通じて最も回答数の多い項目です。「医療・介護・福祉のサービスのこと」：こちらも年齢とともに割合が急増し、60代（18.9%）、70代（25.8%）、80歳以上（20.9%）で非常に高い関心事となっています。健康への不安が、具体的なサービスの充実を求める声につながっていると推測されます。「公共交通や道路など地域の生活環境のこと」：70代（10.7%）と80歳以上（13.6%）で割合が高く、高齢になるにつれて、自家用車以外の移動手段や生活インフラに対する不安が増していることがうかがえます。

2-3 第4次総合計画の評価について

Q12 第4次総合計画(平成29年度~令和8年度)では、「子どもから高齢者まで誰もがいきいきとした暮らしを楽しむまち たわらもと」を将来像に掲げ、以下の6つの基本目標に基づき様々な取り組みを行ってきました。それらの過去10年間の取り組みの内容について、現在の満足度と今後の重要度をお聞かせください。(それぞれ1つずつ選択)

基本目標	政策	満足度	重要度
子育ての願いをかなえる まちづくり	子育て	3.13	4.20
	学校教育	3.07	4.24
健康で安心な暮らしを支 えるまちづくり	地域福祉	3.04	4.09
	高齢者福祉	3.02	4.19
	保健・医療	3.12	4.22
	障がい者福祉	3.03	3.90
	社会保障	2.98	4.15
潤いや喜びを与える学び とスポーツのまちづくり	生涯学習	3.29	3.82
	スポーツ・レクリエーション	2.98	3.59
	歴史・文化	3.23	3.57
	人権	3.10	3.59
安全で快適な暮らしを支 えるまちづくり	土地利用	2.83	4.10
	道路・交通	2.80	4.20
	住環境	2.95	3.91
	生活環境	3.00	3.77
	防災・防犯・交通安全	2.98	4.25
賑わいと活力あふれるま ちづくり	農業	2.88	4.06
	商工業	2.87	3.91
	観光	2.82	3.58
住民とともに実現するま ちづくり	住民参加	2.95	3.61
	行財政運営	2.89	3.87



【重点改善領域】（重要度：高／満足度：低）

住民の期待が高いにもかかわらず、現状の満足度が低い、最も優先的に取り組むべき課題領域である。

- 防災・防犯・交通安全：重要度が全項目中最高に対し、満足度は極めて低い。住民が日々感じる安全への不安が、これまでの取り組みでは解消されていないことを示している。
- 道路・交通：自由記述でも道路の狭さや公共交通の不足が多数指摘されており、生活の質を直接的に損なっている最優先の改善課題である。
- 土地利用：特に「田原本駅周辺のまちづくり」への不満が大きく、町の顔となるエリアの再整備が急務である。
- 農業：町の基幹産業でありながら、住民の満足度は極めて低く、担い手育成を含めた抜本的な振興策が求められる。
- 商工業、観光：これらの産業振興分野も、重要視する声に対して満足度が低く、町の活力を生み出す上で改善が急がれる領域である。

【維持・発展領域】（重要度：高／満足度：高/中）

住民から高く評価され、かつ重要視されている 町の強みといえる領域 である。引き続き質の高い サービスを提供し、さらに発展させていくべき分野である。

- 保健・医療：住民の最大の不安である健康問題に直結しており、この分野の高い評価は住民の 安心感の基盤となっている。
- 高齢者福祉：高齢化が進む中で、地域包括ケアシステムの推進など、質の高い福祉サービスの 維持・向上が不可欠である。
- 子育て・学校教育：未来への投資として、これらの分野への継続的な注力が求められる。

【現状維持・効率化領域】（重要度：低／満足度：高/中）

満足度は比較的に高いものの、住民の優先順位は相対的に低い領域である。現状のサービスレベル を維持しつつ、より 効率的な運営を検討すべき分野 である。

- 生涯学習：一定の満足度を得ており、現状のサービスを効率的に継続することが望まれる。
- 歴史・文化：町の魅力として認識されているが、他の生活直結型の課題に比べると優先度は低いと捉えられている。

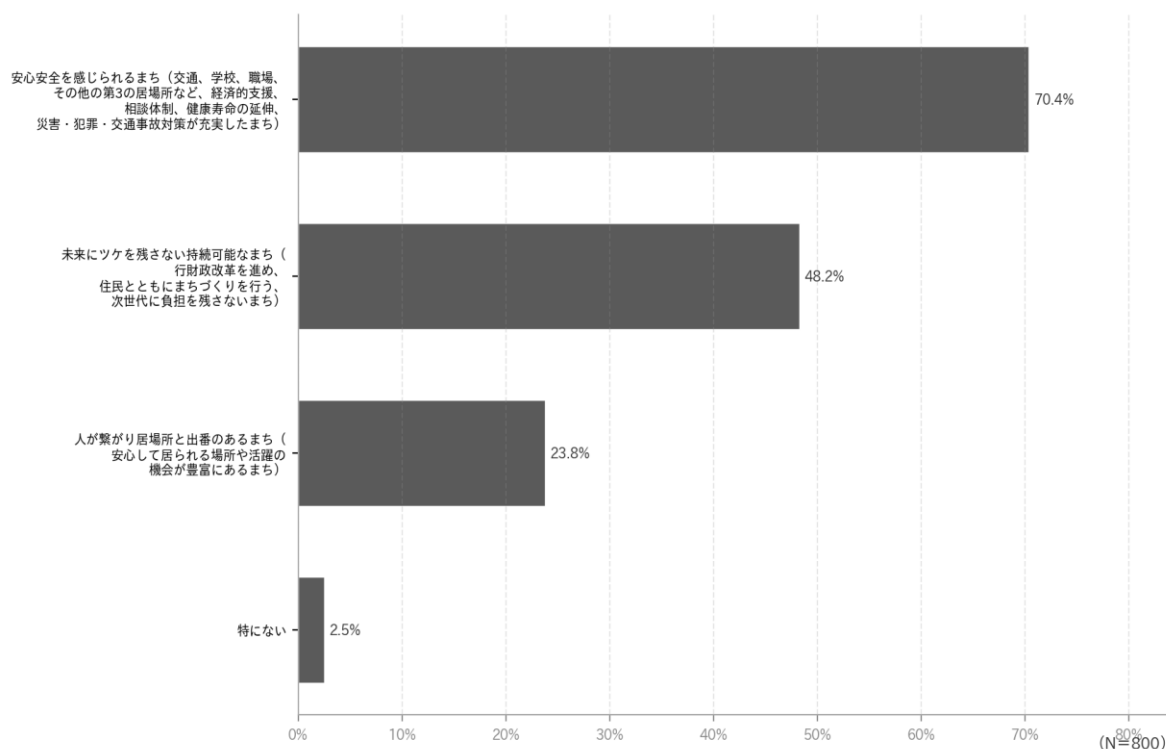
【見直し・再検討領域】（重要度：低／満足度：低）

住民からの重要度・満足度が共に低い領域である。施策の 必要性や内容、リソース配分の見直しを 検討すべき分野 と言える。

- スポーツ・レクリエーション：他の施策と比較して優先度が低いと認識されている。

2-4 まちづくりに関する今後の方向性について（次期総合計画への重点取組み項目把握）

Q13 町長が掲げる「田原本の次なる3つの未来」について、あなたが特に重要だと感じるものはどれですか。（複数回答可）



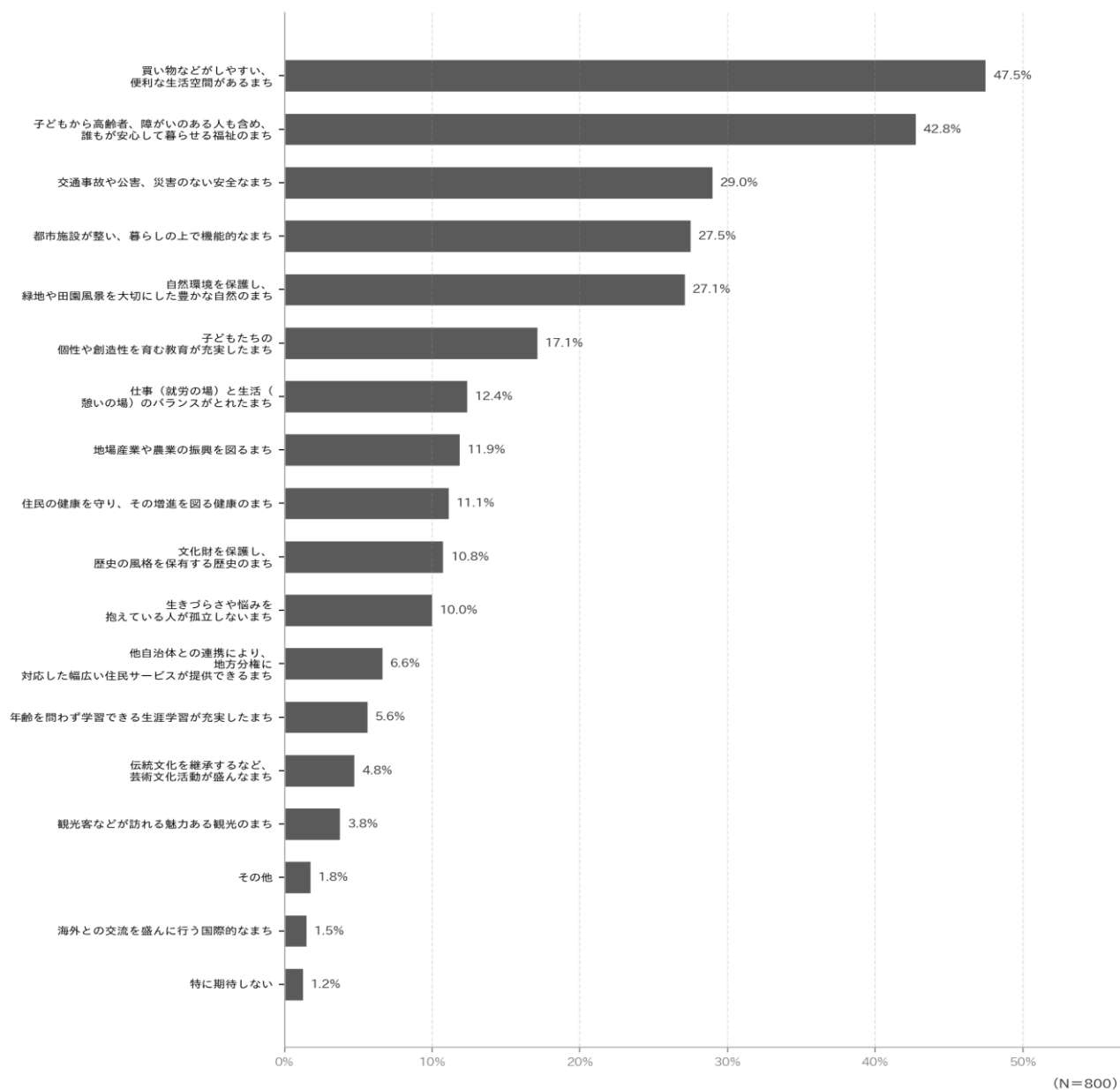
「安心安全を感じられるまち」が圧倒的多数

全体の回答の中で最も多く選ばれており、住民の生活基盤に対する関心の高さがうかがえる。この項目には「交通、医療、災害対策」などが含まれており、日々の生活における物理的な安全や、健康・福祉といったセーフティネットの充実を最優先事項と捉えている住民が多いと考えられる。

「未来にツケを残さない持続可能なまち」も強い支持

行財政改革や次世代への負担軽減といったテーマが含まれており、現在のサービス維持だけでなく、町の将来的な存続や財政健全化に対する意識も高いことが読み取れる。

Q14 今後、田原本町が目指すべきまちの将来像として、あなたが期待するものは何ですか。（3つまで選択）



「その他」の回答

スポーツ振興・交流を盛んに図るまち／就労外国人が増加してきている不安／諸々の細部までの浄化（下水管）の充実してほしい。／助け合い出来る町／小学校区の保育所に！保育所の収容人数が少ない！近くの保育所に行くことができるように！／誰もが気軽に集える居場所、誰かの役に立つ体験、各地域で作れたら／町民参加（子どもから大人）の対話による行政運営／特に駅周辺、資産価値があると思える。魅力あるまちづくりで、町外からの人々をどんどん呼び込んでください。まずは目に留まる美しい街並みを。ぜひ沢山儲けて、財政を潤してください。／役場のコミュニケーション広場がなくなった／マイノリティ優遇し過ぎ／悪化した財政の立て直しを希望します／駅までのせまい道路の対策／活気のある町づくり、人口増加／借金

が0に近い財政／住民の意見を取り入れた行政／夢をカタチにできる町／目標－結果が我々にもわかるよう
にお願いしたい／有名人を輩出する。配信者等…／話題の JICA ホームタウン計画のようなものは反対です

暮らしの「利便性」と「福祉・安心」への高い期待

最も多く選択されたのは「買い物などがしやすい、便利な生活空間があるまち」であり、日常生活における利便性の向上に対するニーズが最も高いことが明確になった。日々の生活を送る上で、商業施設へのアクセスや生活インフラの整備が、住民の満足度を大きく左右することを示唆している。次いで「子どもから高齢者、障がいのある人も含め、誰もが安心して暮らせる福祉のまち」が僅差で続き、福祉サービスの充実とセーフティネットの強化が、住民の安心感を支える基盤として強く求められていることが分かる。

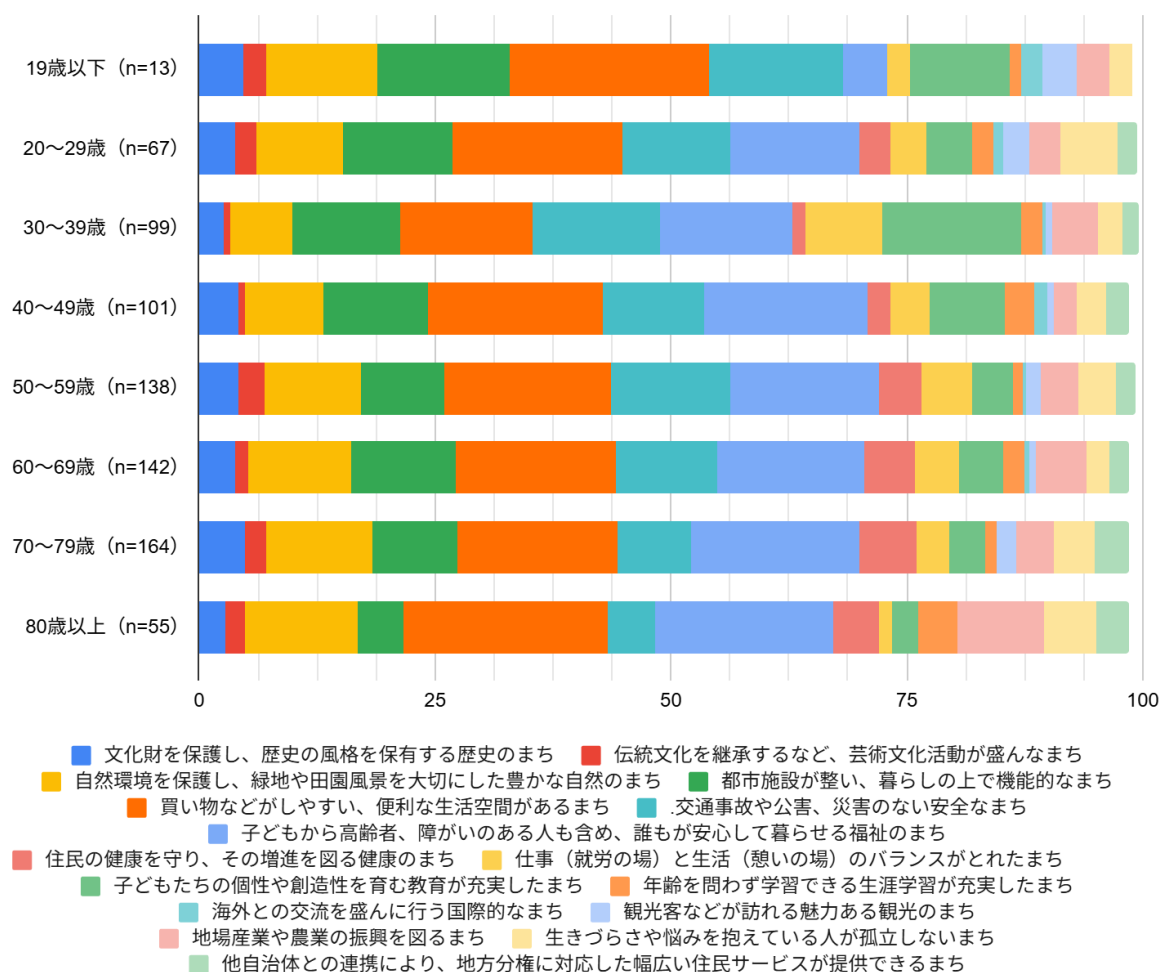
「安全・安心」な環境整備の重視

上位には、物理的な「安全」を求める回答が複数ランクインしており、暮らしの基盤として安全性が強く意識されていることが分かる。3番目に多かったのが「交通事故や公害、災害のない安全なまち」。日常の交通安全から、大規模災害への備えまで、多岐にわたるリスクへの対策が重要視されていることを示している。「都市施設が整い、暮らしの上で機能的なまち」も上位に入っており、単なる利便性だけでなく、インフラが整っていることが「安心」につながると考えられる。

自然環境と教育への一定の関心

利便性や安全・福祉といった喫緊の課題に続く形で、町の「魅力」や「未来」につながる要素にも関心が集まっている。「自然環境を保護し、緑地や田園風景を大切にした豊かな自然のまち」が上位にあり、田原本町の持つ自然や景観を維持・活用することへの期待も高いことが分かる。「子どもたちの個性や創造性を育む教育が充実したまち」も、将来の町を担う子どもたちの育成環境に対する重要な期待として挙げられている。

Q14 年齢別クロス



19歳以下 (n=13)	4	2	10	12	18	12	4	0	2	9	1	2	3	3	2	0	0	1
20～29歳 (n=67)	7	4	17	21	33	21	25	6	7	9	4	2	5	6	11	4	1	0
30～39歳 (n=99)	7	2	18	31	38	37	38	4	22	40	6	1	2	13	7	5	1	0
40～49歳 (n=101)	12	2	24	32	53	31	50	7	12	23	9	4	2	7	9	7	1	3
50～59歳 (n=138)	16	10	39	34	67	48	60	17	20	17	4	1	6	15	15	8	2	1

60～69 歳 (n=142)	15	5	43	43	66	42	61	21	18	18	9	2	3	21	9	8	4	2
70～79 歳 (n=164)	21	10	49	39	74	34	77	27	15	16	6	0	9	17	19	16	4	2
80 歳以上 (n=55)	4	3	17	7	31	7	27	7	2	4	6	0	0	13	8	5	1	1

若年層（10 代～30 代）の特徴：都市的な利便性と教育への期待

買い物などがしやすい、便利な生活空間があるまち」は、19 歳以下、20 代で圧倒的に高い割合を示し、30 代でもトップクラス。若い世代にとって、生活の利便性・都市機能の充実は非常に重要な要素であることがわかる。「子どもたちの個性や創造性を育む教育が充実したまち」も、19 歳以下、30 代で特に高く、子育て世代の教育への関心の高さが際立っている。

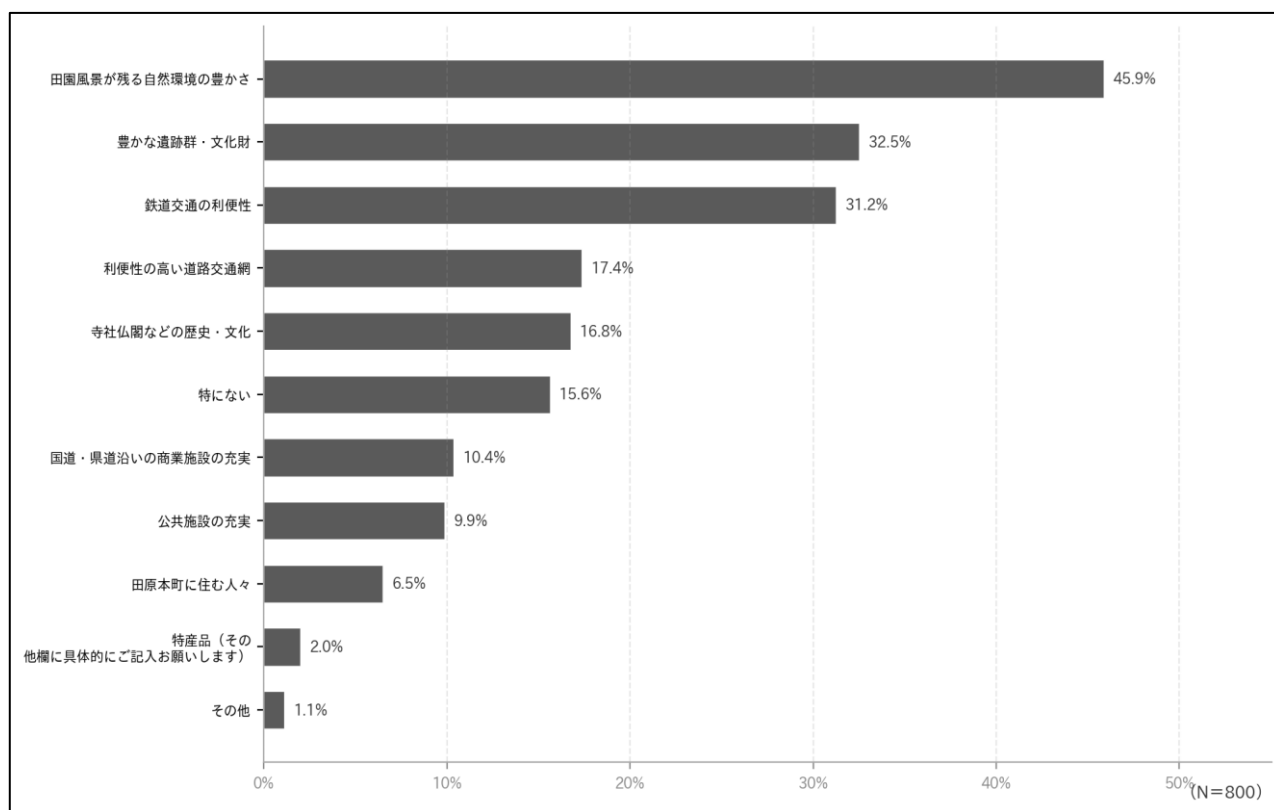
中年層（40 代～70 代）の特徴：福祉と安全への強いニーズ

子どもから高齢者、障がいのある人も含め、誰もが安心して暮らせる福祉のまち」は、40 代、50 代、60 代、70 代といった幅広い年代で最も高い期待を集めています。特に高齢化が進む中で、地域全体で支え合う福祉の充実は、多くの住民の共通の願いと言える。「交通事故や公害、災害のない安全なまち」は、すべての年代で高い割合だが、特に 30 代、50 代で高くなっている。安全・安心な生活環境は、世代を超えた基盤的ニーズだと考えられる。

高齢層（70 代・80 歳以上）の特徴：自然環境と農業への回帰・期待

80 歳以上では、他の年代と比較して「地場産業や農業の振興を図るまち」と「自然環境を保護し、緑地や田園風景を大切にしたい豊かな自然のまち」の割合が特に高くなっている。地域資源の維持・活用と、昔ながらの田園風景を大切にするという価値観が、高齢層でより強いことを示唆している。「都市施設が整い、暮らしの上で機能的なまち」は、若年層では高いものの、70 代、80 歳以上では、他の主要な期待項目に比べて割合が低下しており、高齢層は利便性よりも地域生活の安定や自然環境を重視する傾向が見て取れる。

Q15 あなたは、田原本町が誇れるもの、あるいは魅力に何があると思いますか。（3つまで選択）



特産品

味間いも／古都華いちご／すいか／嶋田味噌／里芋

「その他」の回答

タワラモトン／スーパーがたくさんある。／子育てや治安／田園都市で人が多すぎず、少なすぎない所／日常生活を送りやすい／災害のない町／生活物価が高くない／全てが中途半端

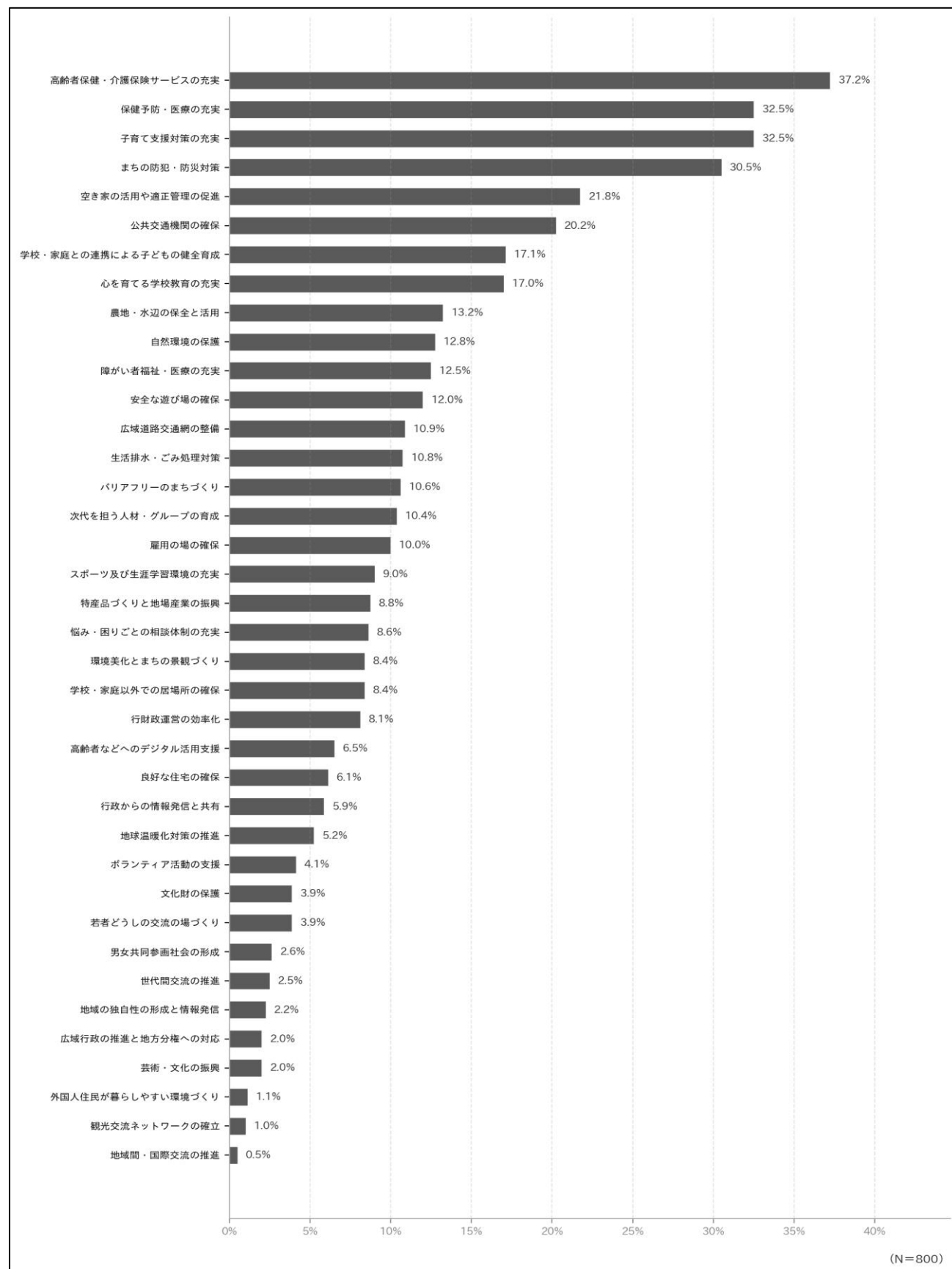
トップは「自然」と「歴史・文化」の魅力

「田園風景が残る自然環境の豊かさ」が圧倒的な1位となり、多くの住民が町の自然環境を誇りに感じていることが分かる。2位の「豊かな遺跡群・文化財」、5位の「寺社仏閣などの歴史・文化」を合わせると、田原本町の歴史・文化資源が大きな魅力として認識されていることが分かる。

交通の利便性も高い評価

「鉄道交通の利便性」、「利便性の高い道路交通網」が上位にランクインしており、生活基盤としての交通インフラの充実も町の大きな魅力となっています。特に「鉄道交通の利便性」は「歴史・文化財」に並ぶ回答数であり、日常的な利便性の高さが町の評価に大きく貢献していると言える。

Q16 今後、行政と地域が一緒になって担うべきだと思われるまちづくりの施策は何ですか。（5つまで選択）



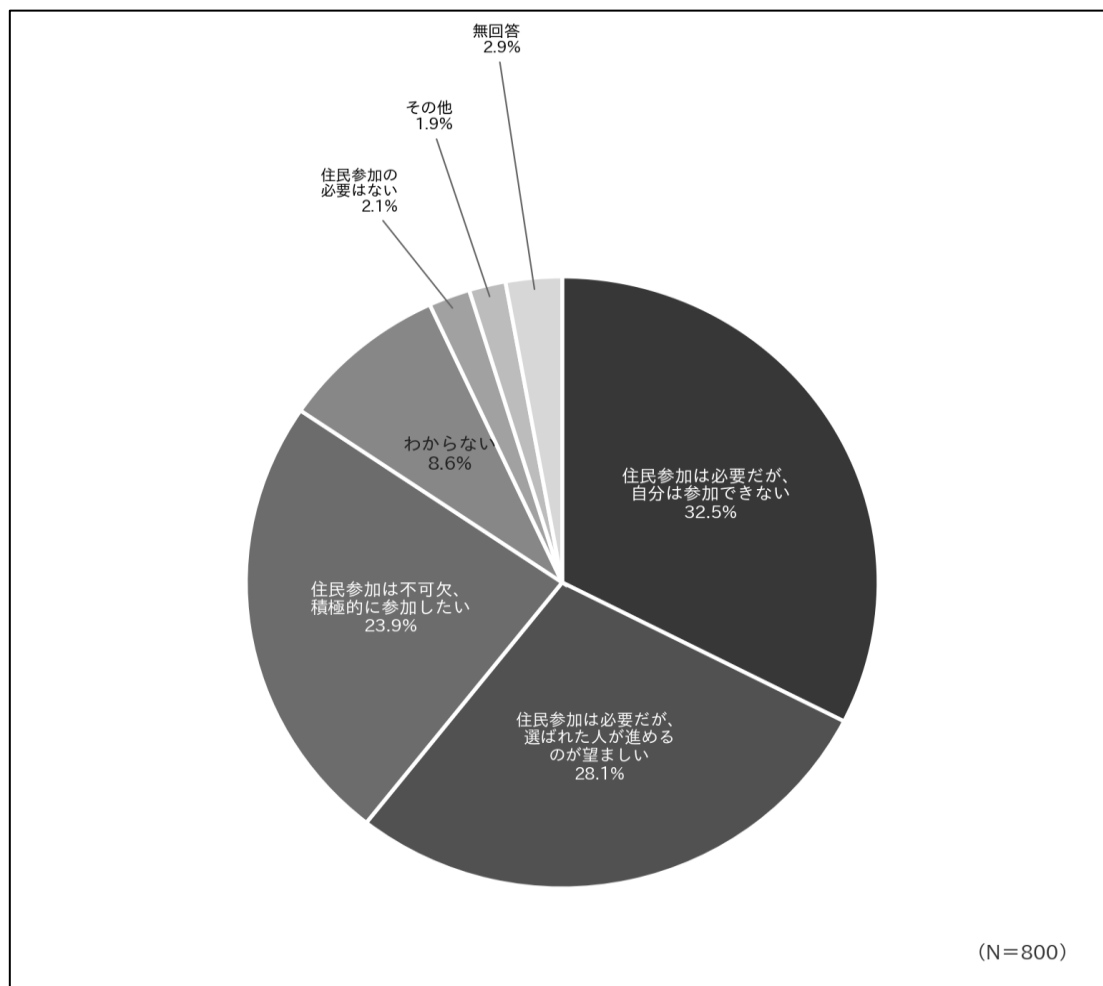
福祉・医療・子育ての優先度の高さ

回答数1位の「高齢者保健・介護保険サービスの充実」に加え、「保健予防・医療の充実」「子育て支援対策の充実」が同率2位となり、回答者にとって、福祉、医療、子育てといった「安心な生活の基盤」に関する施策が最優先で行政と地域が連携して取り組むべき課題として認識されている。

地域課題への意識

5位には「空き家の活用や適正管理の促進」が入っており、空き家問題が単なる行政課題ではなく、地域全体で取り組むべき身近な問題として認識されつつある。

Q17 うるおいある豊かな地域社会を築いていくためには、町民がまちづくりに積極的に参加していくことがますます重要になっています。今後、あなた自身がまちづくりに参加することについてどのようにお考えですか。（いずれか1つを選択）



「その他」の回答

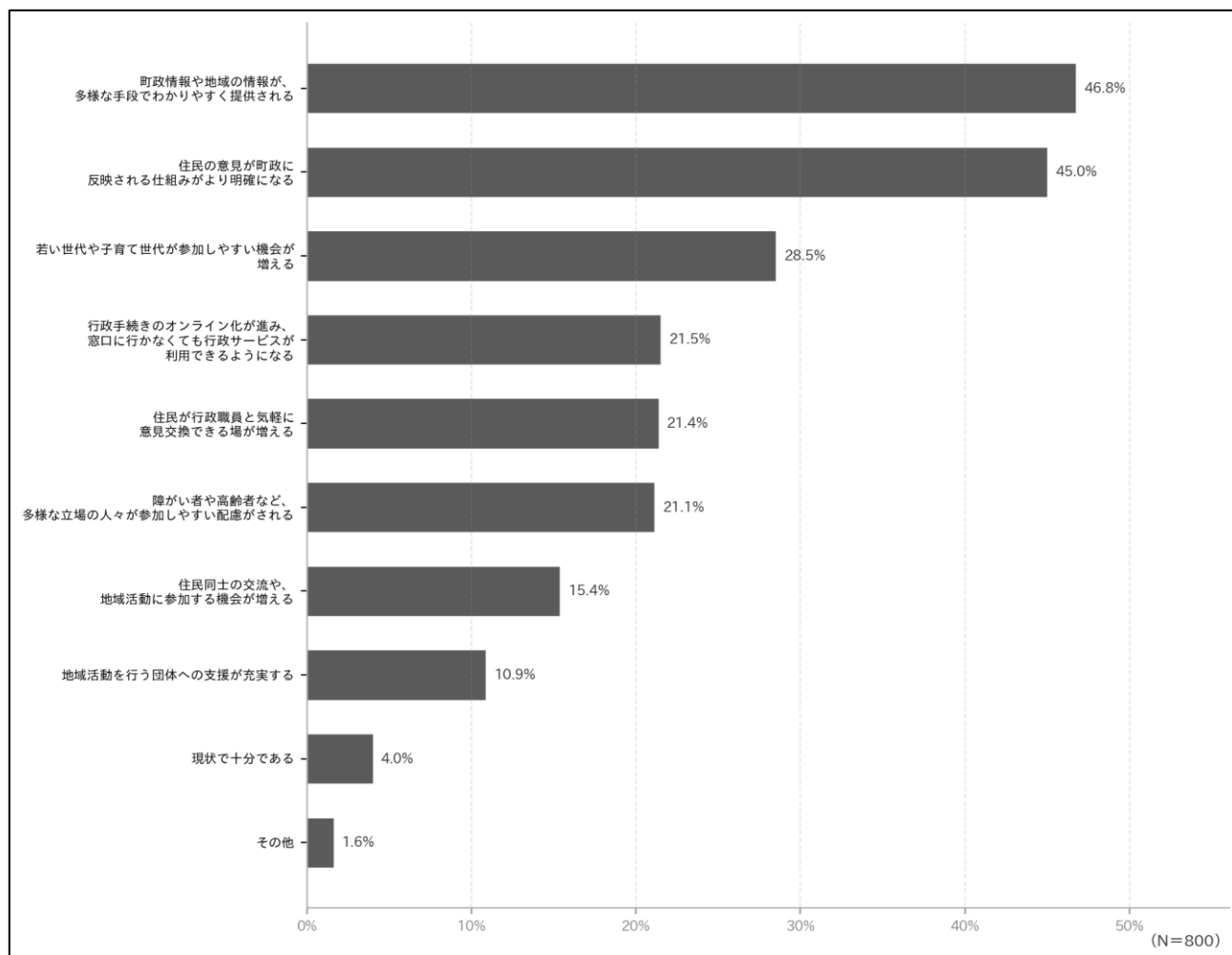
できる事・したい事…我々にPRしてほしい／まちづくりとはどこまでか、範囲が不明確／経済的に働いている世代は、ボランティア参加は敬遠されると思う／限定されるのではなく、誰でも気軽に参加できるシステムが欲しい／高齢のため参加できない／子供がいて参加しにくいのでアンケート方式がありがたい／女性が気軽に意見を言える会議であって欲しい／直接会場に足を運ばなくても参加できるような機会が欲しい／年齢層に偏りのない参加が望ましい／不可欠となると責任が重い、気になることや参加したいと思うものがあれば参加したい／もっと門戸を開いて入口をネットアンケートにする等が必要かと皆思っている以上に今の親は忙しい。／具体的に何をしたいのか？目的が不明である。／自分では計画できないが、機会があれば（年齢に応じた）参加する／住民参加により、いろんな意見を集約し、町政に反映させることは必要である。／住民参加は必要だと思うが、仕事を休むことがためられる／住民参加は必要だと思うが、専門知識のある人のサポートは欠かせないと思う。情報が乏しく、参加に積極的になれない。

積極参加層と困難層が共存

「まちづくりに住民参加は不可欠であり、機会があれば積極的に参加したい」と回答した層が全体のおよそ 25%を占めている。具体的な参加機会の提供や、参加しやすい環境整備によって、まちづくりの重要な担い手となり得る「積極参加層」と見なせる。

一方で、最も多かった回答は「まちづくりに住民参加は必要だが、自分としては参加できない」。まちづくりの重要性は理解しつつも、時間的制約、知識・スキル不足、参加方法の不明確さなど、何らかの障壁を感じて自発的な参加を断念している層が最も厚いことを示唆している。行政としては、短時間で負担の少ない形での関与（例：アンケート、オンライン意見交換など）の機会を増やすこと、また「積極参加層」に対しては、多様で継続的な役割を提供することが効果的であると考えられる。

Q18 町民が、より積極的にまちづくりに参加するためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。（複数回答可）



「その他」の回答

オンライン化が不得手な人も多いので十何なシステムが必要。／まちの強み・目玉を創出する（知名度があってカネを生むもの）／行政が地域に向く、タウンミーティング等／子どもたちの意見を生かす政策づくり／地域バス／年令に関係なくアナログ利用も必要／オンラインで手続きができない人のことも考えてほしい／まちづくりの範囲不明確／行政のしがらみや規制にとらわれない協力が必要／町会議員は積極的に住民と交流して住民の声を聞くべきかと思います。／田原本町のホームページをもっと見やすく、見たい情報を検索しやすく／報酬があれば参加してくれるのではないのでしょうか。／老人に分かりやすい手続きが必要

「情報公開」と「意見反映」の仕組みが最優先事項

「町政情報や地域の情報が、多様な手段でわかりやすく提供される」が最も多く、次いで「住民の意見が町政に反映される仕組みがより明確になる」となった。町民は「何が起きているか」を知り、「自分の声がどう活かされるか」を明確にすることを、重要視していることがうかがえる。

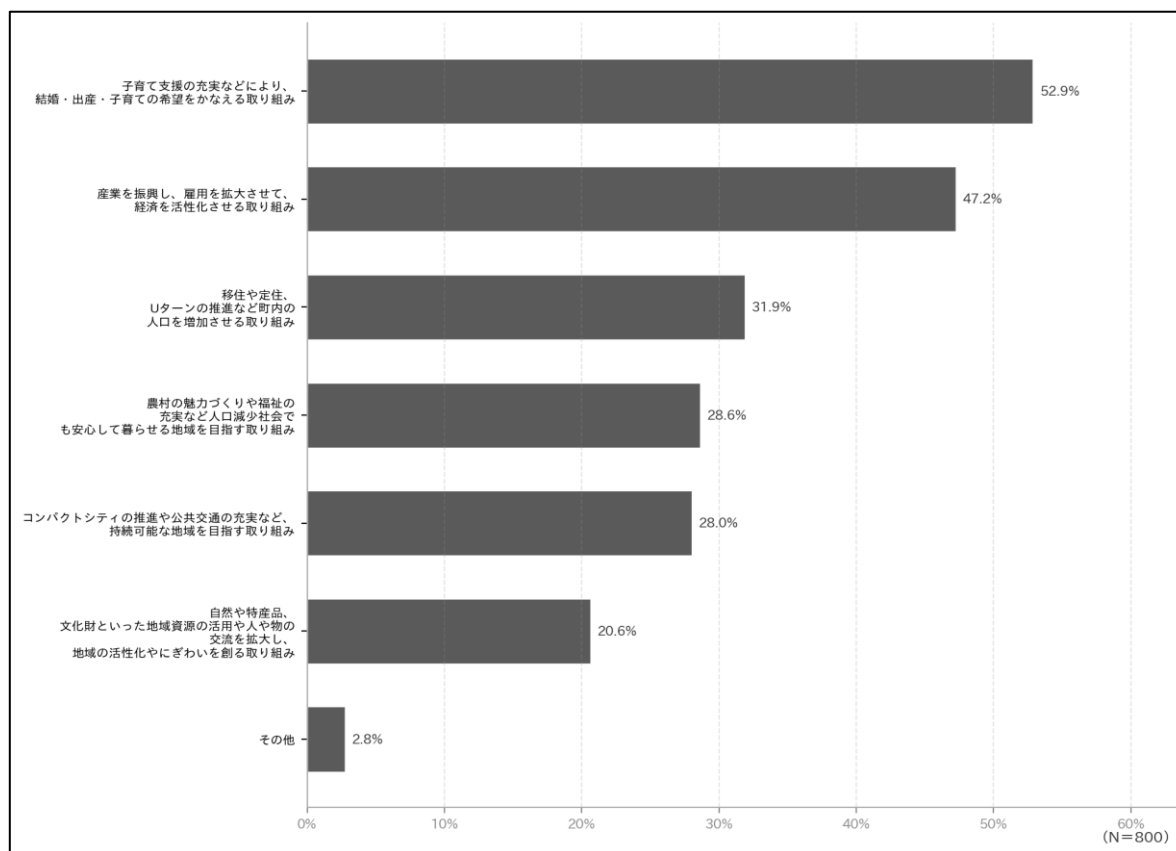
参加の機会と利便性の確保も重要

次に票を集めたのは、「若い世代や子育て世代が参加しやすい機会が増える」。既存の参加形態が特定の世代に偏っている、または、これらの世代のライフスタイルに合わせた参加方法（時間帯、場所、オンラインなど）が不足していることを示唆している。

「参加へのインセンティブ」は比較的低い

「まちづくり活動への参加者に対し、特典や謝礼などインセンティブが用意される」や「まちづくり活動に参加することで、町民同士のつながりが深まる」は比較的低い順位にとどまっている。町民は金銭的・物質的な動機よりも、「まちづくりへの貢献」や「透明性・納得感」を重視している傾向があると考えられる。

Q19 人口減少を克服し活力ある社会を目指して、田原本町が今後最も力を入れるべき取り組みは何だと思いますか。（3 つまで選択）



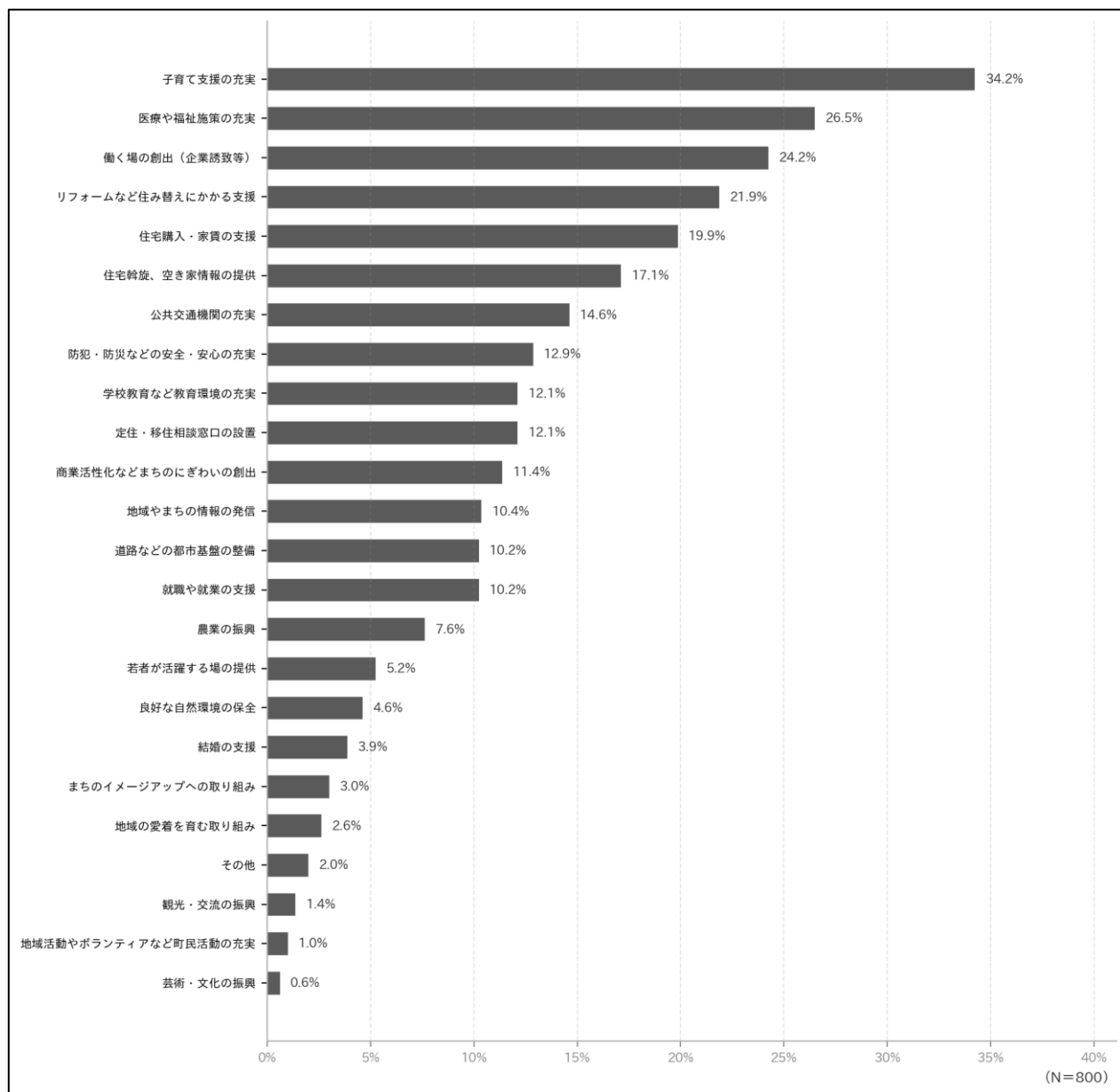
「その他」の回答

安心安全な住環境／京奈和高速道にインターチェンジ早期実現、企業誘致を進めること。／工業地帯反対！
 ／町内に学校以外で子どもが安全に遊べる場所が必要。現状、田原本町から出て行かないと無い。公園もない。
 ／独身者の生活を支援し、愛・希望を叶える取組／保育園の充実／魅力や特色のある、どこにもない学校づくりによる移住促進、併せて、農業によらない農業を推進し環境の意識が高い町づくりをする。／バスなどで交通を便利にする／企業を誘致して町の若者や近隣の人たちが通勤、あるいは町内に住むようになる
 しっかりした企業を誘致してほしい／空き家対策の充実。町が主体となって空き家0を目指す取組み／工場進出の受入れ／持続する労働力の確保という点からも高齢者の労働力確保並びに地域医療体制の効率化も視野に入れるべきかと思います。健康年齢についても考えていくべきかもしれません。人口減少による労働力減少を懸念していますが、なんとか高齢者の労働力確保による維持もしばらくは必要かと思います。／自然環境、特に水害がない町を／自然減をあまり問題にしない取り組み／商業施設の誘致。ラスパ西大和、フレスポ桜井など。近隣に田原本町負けている。他の市町村に買い物行ってしまう。場所は良いのに勿体無い。
 ／人口は減ってもいいと思う／生活援助／町の中の道路の整備／田原本を訪れてもらう機会が増えるフェスのようなイベント／農村の改革（法人化）、人口増加→出会いを増やす

内発的・外発的な人口増加対策の両面を重視

住民は「子育て支援による内発的な人口増加」と「経済活性化・移住定住による外発的な人口増加」の両面を重視しつつ、その基盤として「福祉の充実と持続可能なまちづくり」を求めていることが読み取れる。

Q20 定住・移住してもらうために田原本町が今後行えばよいと思う取り組みは何ですか。（3つまで選択）



「その他」の回答

安易に新築住宅を建てるのではなく、古民家改修費用の支援があればよい。／環境（アレルギー等の原因となる環境ホルモン対策も含め）、教育環境づくり／最低賃金は1050円。チェーン店多し、何をにぎわいにするのか？これ以上不要。／子育て、移住者、自営業者の免税（支援・補助ではなく免税・減税）／若い人が出て行き、高齢者が帰って来る／住みたいと思えるよう切り口として景観はかなり重要だと思います。／町内に警察・消防署がないのでは話にならない。／様々な金銭面の支援／駅ピアノ／現状でいい／国道24号線沿いの歩道（デコボコして、高齢者には住みにくい！）／生活援助／大阪等の大都市への直通列車ぐらいないと無理です／電子図書導入／特にない／老人のことを大事に

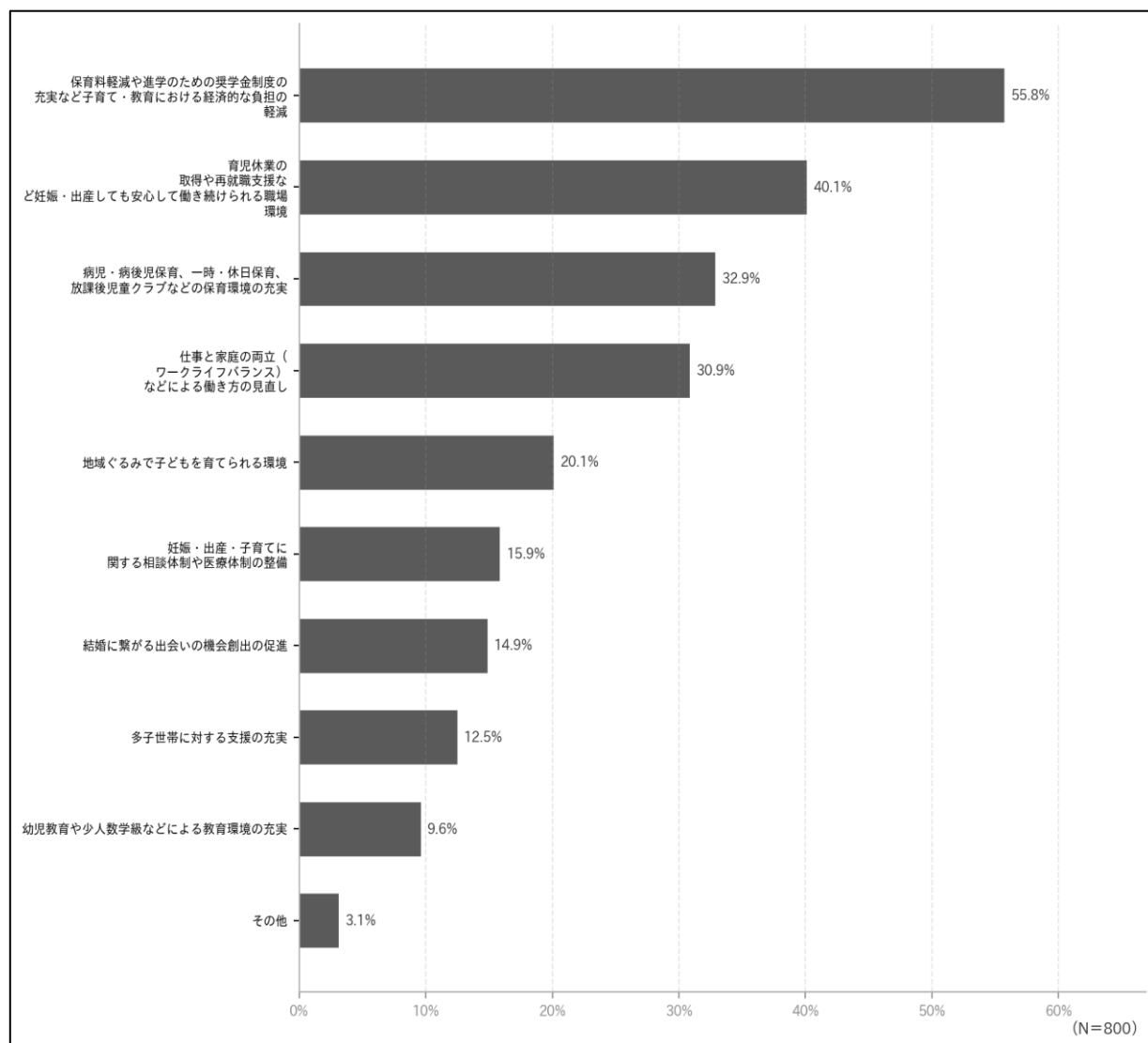
子育て・教育環境の整備が最優先

「子育て支援の充実」が圧倒的な1位であり、子育て世代の定住・移住を促す上で最も重要な施策と認識されている。これに「学校教育など教育環境の充実」も加わると、子どもを安心して育てられる環境が整っていることが、町に住み続ける、移住する際の最大の動機になると考えられる。

住宅・住環境への直接的な支援のニーズ

「リフォームなど住み替えにかかる支援」、「住宅購入・家賃の支援」、「住宅斡旋、空き家情報の提供」が上位を占めており、住宅に関する直接的な経済的支援や情報提供が、定住・移住へのハードルを下げるために有効だと考えられている。

Q21 これから少子化に歯止めをかけるため、田原本町はどういった取り組みに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで選択）



「その他」の回答

家族というものの考え方、夫婦のあり方、生まれた環境による子供の育て方／共働き（パート等）に対する税対策／経済的な支援は都市部に負けるので、教育内容等の充実やオリジナリティを発展させていけたら理想。教育熱心な家庭の子たちが通うような市立小学校の誘致など、裕福な家庭の人が引っ越してくれるような環境づくり／雇用を増やし、安定させること（企業誘致、企業促進）子供が成人するまでの安定した収入の見込みがあれば、子供を持つという気になると思う。少なくとも、安定した収入があるのに授かった子供をあきらめようと思うことはないと思う。また、補助金など一時的な収入は金額がいくらであろうと一時的という点で効果はほとんどないので無駄である。／公園がふえてほしいです。／若者が結婚しない、子供を持たない最大の理由は収入が少ないからです。この町に住めば、働く所がたくさんある。転住近接で子育てしやすいとなればだまっていってもこの町の人口は増えるでしょう。大口の雇用が生まれる超大型のショッピング施設等を誘致したり、農作業が楽で清潔な大型の野菜栽培施設を作ったりして、町民は収入を得、施

設は広く町外の人達も買物に来てにぎわう楽しい町になって欲しいものです。例えばコストコのような施設を誘致したり、他の魅力的な施設は整備された大型駐車場さえあれば県外からも人はたくさん来ます。／少子化にばかりお金をかける必要無し。／大企業の誘致等／町内でも子供にとっては広すぎるため全てにおいて親が車での送迎が必要になる件を解消する働き／保育園児等が発熱の場合勤務中でも迎えが必要であるが多子の場合はひんぱんにその様な事態が生じるので何かよい対策を講じていただけないでしょうか。私の子供、孫は子育ては終了していますが保育園児を育てている中で一番困っていました。／目先の対策やコンサル任せの方策でない、この地域にしかできない魅力を創造する力の育成／うちの子が保育園落ちました、こんな現状では他の人に田原本に住むことをオススメできない／ここでしかできない幼児教育（読み書き英才教育・発達に凸凹がある子供専門の園を立ち上げるなど）を立ち上げて SNS で発信してブランド化する／子供をたくさん産んでも育てられるだけのお金などの支援や、仕事をしている時間帯に子供を預けられる場所などの支援。学童は夕方までだし、土日に預けられないのが大変そう。／借金を 0 に近づけてほしい／周りの行政に合わせた政策が取れるよう予算を確保／少子化で良い／生活援助／電子図書館／納める税金や社会保険料が減り手取りが増える／不妊治療助成、妊活支援／婿養子等で地元に残った女性が機嫌良く子供を産みやすくする／労働環境の強化、働き場の増強

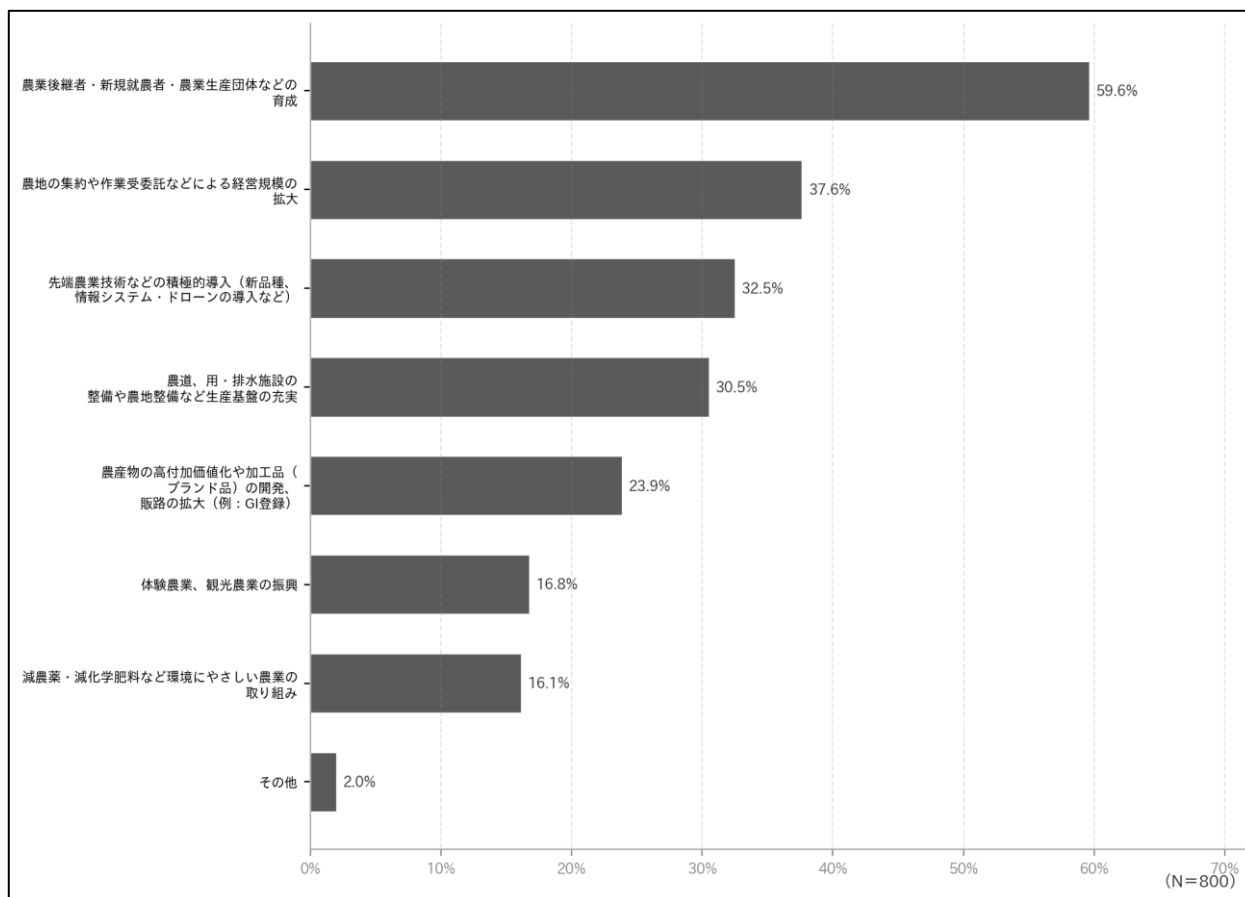
経済的な負担軽減が最優先事項

最も多くの回答を集めたのは「保育料軽減や進学のための奨学金制度の充実など子育て・教育における経済的な負担の軽減」。子育てや教育にかかる費用に対する町の直接的な支援が、少子化対策として最も強く求められていることがわかる。

保育サービス拡充のニーズ

3 位の「病児・病後児保育、一時・休日保育、放課後児童クラブなどの保育環境の充実」から、既存の保育サービスに加え、多様なニーズに対応できるきめ細かなサービス拡充への期待が高いことが示唆される。

Q22 あなたは、田原本町の農業振興のために、今後何に力を入れるべきだと思いますか。（3つまで選択）



「その他」の回答

古い体質の団体（農協など）の刷新／住民参加できる農地等の充実（有料）／田原本町の農業従事者は儲けより先祖からの土地を維持することが主目的である為、経営規模の拡大は望めない。／農家だけでなく兼業農家も行いやすくすべき。／農業をすれば儲かるというシステムを確立する。少なくとも就農すれば免税など損をしないようにする。儲からない仕事をしたい者はいないので。／農民に対する協力作業協働作業充実！／農薬を使わない生産体制。町としての取り組みが必要（生物多様性とくしま戦略の様なこと）／新規就農希望者に対するハードルを下げる事／農家優遇し過ぎ／農業用の機械を安く借りられる仕組みづくり／区画整備・まとめる／スイカの町復活

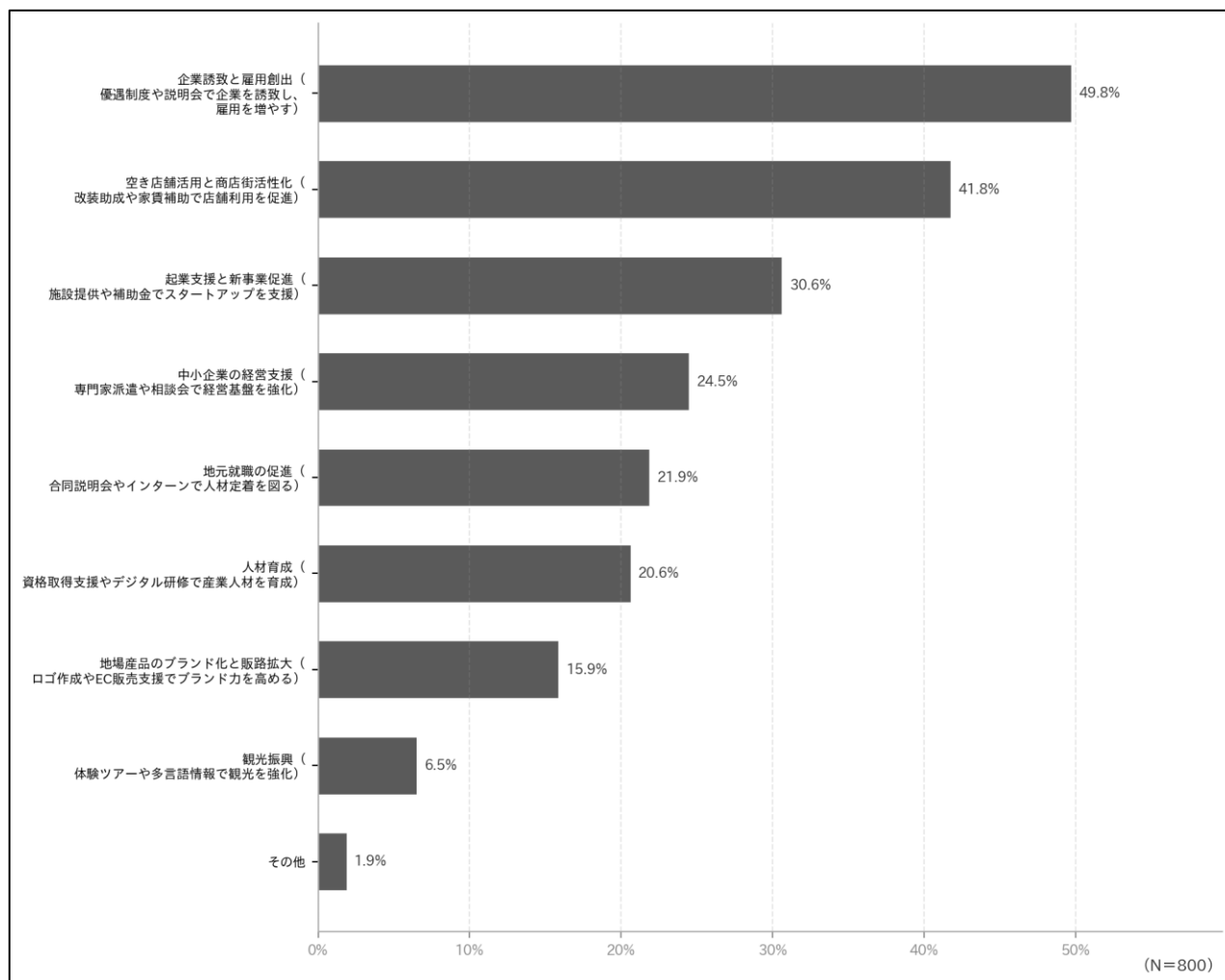
担い手の育成が圧倒的な最優先事項

「農業後継者・新規就農者・農業生産団体などの育成」が全回答項目の中で最も多く、全体の約3分の1（約30.6%）を占めている。持続可能な農業を実現するための最も喫緊の課題として、人材確保が強く認識されていることを示している。

「効率化」と「技術導入」による経営強化の要望が高い

次いで多かったのは、「農地の集約や作業受委託などによる経営規模の拡大」と「先端農業技術などの積極的導入（新品種、情報システム・ドローンの導入など）」。労働力不足や競争力強化の観点から、規模拡大やスマート農業化といった、農業経営の効率化・近代化への期待が大きいことを示唆している。

Q23 あなたは、田原本町の商工業推進のために、今後何に力を入れるべきだと思いますか。（3つまで選択）



「その他」の回答

アナログ人民も大事に！／駅、R24 を中心に据えた街づくり／旧町の改変、再開発／公営ギャンブル場の設立、競輪・競馬・競艇の発券売り場／行政が若者の企業に注力し、安心して失敗できる状況を作る。／地域優待券の利用／南部開発含めダンプカー多い、これ以上不要！古きよき時代も終わった。工業誘致は止めてほしい！！／駅前の建物買い取って5年まで安く貸し出して飲食店やお店を田原本の駅前に出しやすくして欲しい。／地元就職しても大阪と同じ賃金待遇になるよう企業に支援金を出す／田原本町に税金を納めている企業への融資等の優遇／役場が必要なものを商店街で買い物をする

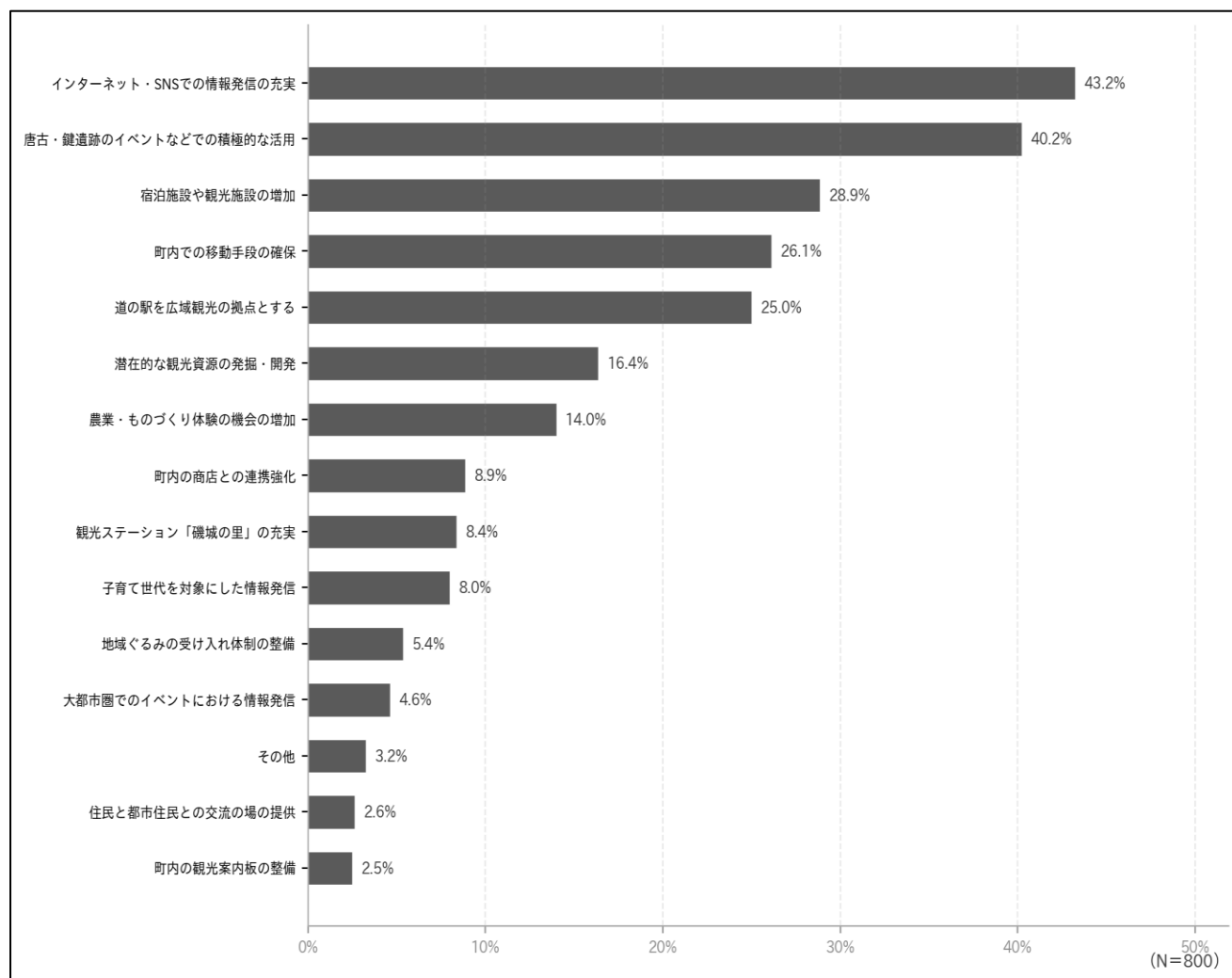
最も重視されているのは「企業誘致と雇用創出」

「企業誘致と雇用創出（優遇制度や説明会で企業を誘致し、雇用を増やす）」が最多の回答となった。地域経済の基盤強化、安定した雇用機会の創出による人口定着・増加への期待が非常に大きいことを示している。

商店街の活性化と起業支援も重要

2 番目に多かったのは「空き店舗活用と商店街活性化（改装助成や家賃補助で店舗利用を促進）」。町民は、日常の買い物や交流の場である既存の商店街の衰退に危機感を持ち、具体的な補助策による活性化を強く望んでいることがうかがえる。

Q24 あなたは、田原本町を訪れる訪問客(観光やイベント参加)及びそこから生まれる消費を増やすには何をすればよいと思いますか。（3 つまで選択）



「その他」の回答

（観光ステーション）利用率が気になります。／タワラモトンに引退してもらいたい。なんで豚やねん。町の恥さらし。全国からバカにされているゾ。ただのゴロ合わせに意味がない。／ペット連れで訪れやすい街／遺跡にこだわらないイベント行事／行政サービスを整備してから／駐車場のあり方／田原本駅前の整備／年間を通した色々なイベントの開催（音楽祭、映画祭など）／コストコ、IKEA、動物園、水族館などの観光施設をつくる／サッカー場&スタバ、免許センター建設／フィルムコミッションなど聖地巡礼の観光／駅前の整備。狭くてごちゃごちゃしていて魅力なし。／駅前商店街のシャッター閉まってるところは町が買い取って個人店に安く貸し出して駅前ぶらり歩きができるようにしたらどうですか？カフェ、飲み屋、雑貨屋などおしゃれスポットにするべき／屋外音楽が出来るようなステージを作っては／観光客に対してマナー・ルールの徹底した取り組み／近鉄田原本駅の西田原本駅の融合、駅周辺の再整備／鍵遺跡や津島神社を活かしたイベントの充実／寺川をもっときれいにし、集会やイベントが出来るよう整備する。川幅の拡幅し、県内からまず田原本へ来てもらえるように計画する。／村の活性化／大きな公園（馬見公園など）／遅くまで

開いている飲食店を増やす・駅周りの宿泊施設や観光施設の増加／唐古・鍵遺跡の駐車場を国道の横へ作る／道の駅が勿体無い、道の駅くるくるなるとみたいにしてほしい。唐古公園はルールが多すぎて子供が遊びにくい。遊具がない。竹取公園の方が楽しい。／奈良、明日香、法隆寺等の観光ハブ拠点とする為の開発／訪問の目的の方向性を変えるべきです。文化的でない方に

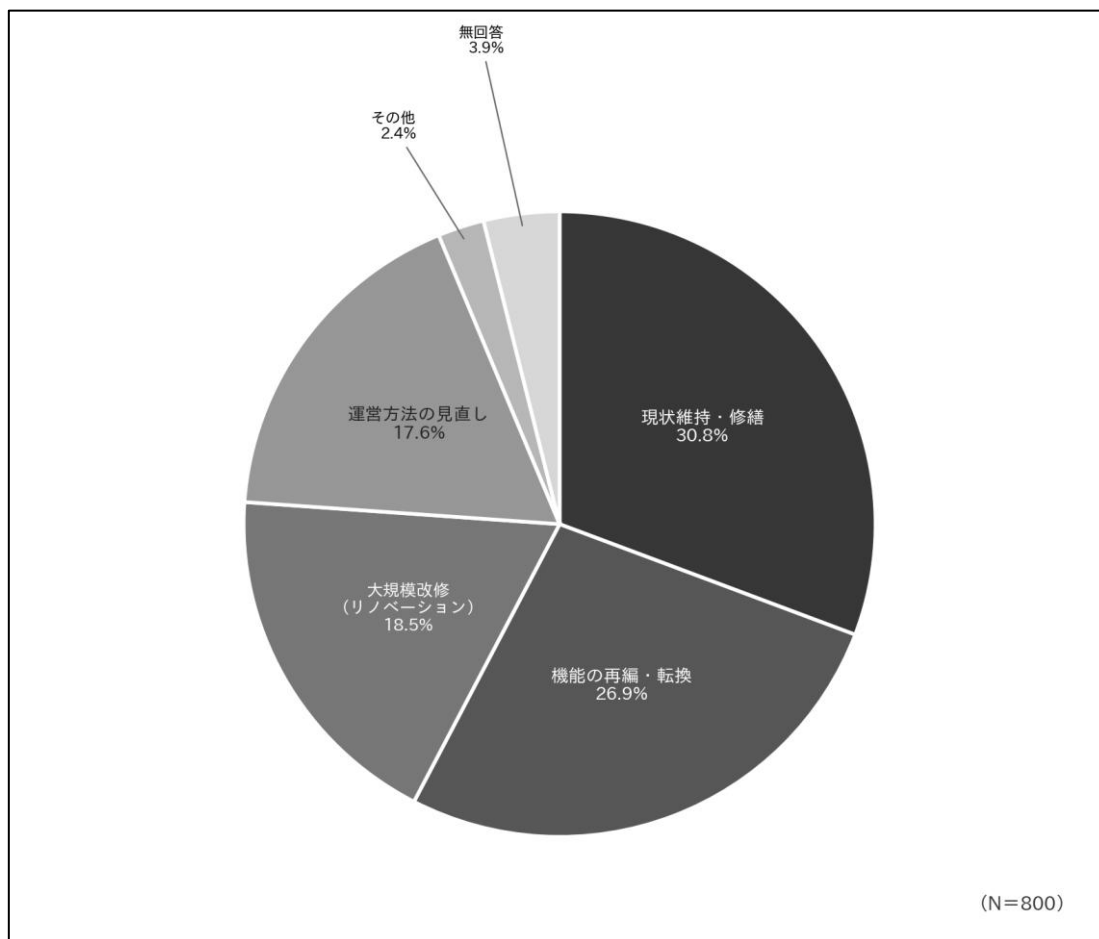
情報発信と主要資源の活用が二大柱

「インターネット・SNSでの情報発信の充実」が最も多く、現代において集客に不可欠なデジタルマーケティングへの期待が高いことが示されている。次いで「唐古・鍵遺跡のイベントなどでの積極的な活用」が挙げられ、町のシンボルである唐古・鍵遺跡を核とした具体的な集客イベントの実施を望んでいることが分かる。

観光基盤の整備に対する要望

情報発信やコンテンツの活用に加えて、観光インフラの整備も重要視されている。「宿泊施設や観光施設の増加」が3位にランクインしており、滞在時間の延長と消費拡大に直結する施設の不足を感じている可能性がある。「町内での移動手段の確保」も高い割合を示しており、町内をスムーズに移動できる交通手段の整備が、観光客の利便性向上に不可欠であると認識されている。

Q25 青垣生涯学習センターは年間 20 万人以上が利用する町の主要施設です。建設から 20 年が経ち、町では改修を含めた「知と交流の拠点」としてのあり方を検討しています。施設の将来について、あなたの考えに近いものを選んでください。（いずれか 1 つを選択）



「その他」の回答

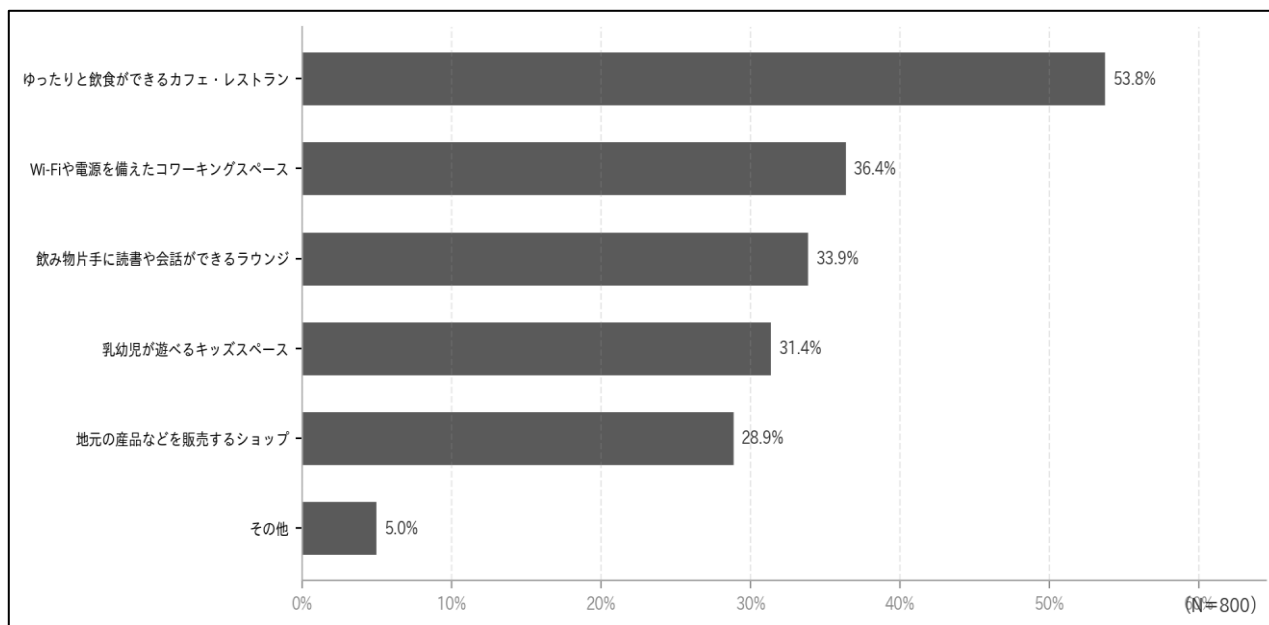
シャトルバス等の整備をする。／せっかくいい施設なのでもっと活用すべき。収入になるようなイベント等も利用すればよい。／一、二度しか訪れたことがないのでわからない／飲料水、ただの水道水。なんでウォータークーラーにしない？トイレ、なんでウォシュレットにしない？納税者を馬鹿にしている。／開かれたセンターに町民のため優先的に！／今の時代に寄せた建築（外装・内装ともに私立大学のような）／図書館の個別ブースの利用は町民優先にする方が良い。町民が勉強等に使えるスペースを夜 9 時まで解放出来るようにして欲しい。／町財政の悪化をどうしますか／来場者利用できるカフェも閉店。デザイン性に優れた図書館のデザインは残しつつ、レストラン、カフェでお茶などできる施設を作ってほしい。ツタヤ書店の読書しつつお茶できるスペース、大人のスペース、道の駅などの地域の農作物の販売、催し、朝市などしてほしい。／DVD の種類を増やす／どの地域からもアクセスしやすい公共の交通をつくる／催しの呼び込み／施設内の内容に拘らず、イベント等が毎週末行われていて、周辺の開発を含めて行けば何かあるといった人が集まる場所に／川西町のもくいくみたいにしてほしい／田原本駅からコミュニティバスを出す／電子図書館と

しても利用できるようになって欲しい／無駄な税金は使わなくて良い／名前が長すぎる。田原本文化センターへ。今のままでいい。

保守的ニーズと革新的ニーズが共存

町民の意見は、「現在の機能を維持したい」という保守的なニーズと、「時代に合わせた新しい価値や魅力を創出してほしい」という革新的なニーズに二分されていると言える。特に、「機能の再編・転換」の具体的な例として示されている「子育て支援、コワーキングスペース等」といった町民ニーズの高い機能の追加は、「現状維持・修繕」に次ぐ支持を得ており、施設の改修を検討する上で最も重要な論点の一つになり得る。

Q26 もし施設を改修したり、機能を追加したりする場合、どのようなスペースや機能があれば利用してみたいですか。（複数回答可）



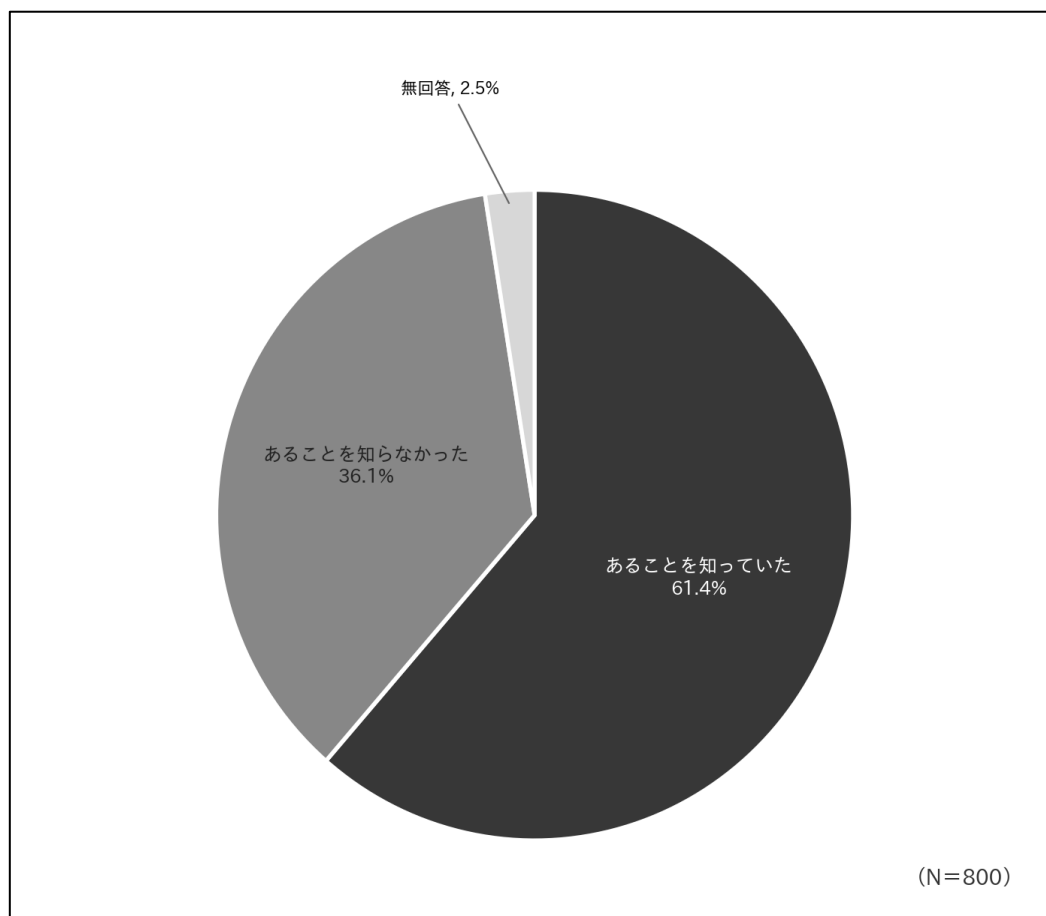
「その他」の回答

10～15人程度入れる映画館／イベントを増やし良いイメージを報道する／クーリングシェルター／コンセプトが感じられない／トイレはウォシュレット、飲料サーバーはウォータークーラーに。／のみくいする所は一ヶ所に／パーキング場／ホっとする誰とでも場所／軽い運動ができる場所／軽度の認知症の人も働けるカフェやショップ。一人暮らし老人が気軽に来れる？働ける？カフェやショップ／子ども等のグループ利用／乗り物の手段がないと行けないところにある。交通を便利なところにしてほしい。／多目的スペース充実、町民の為のスペース充実／町民が趣味や教養の分野を広げる為の教室がもっとあれば良いと思うが、いつも教室が足りない。／哲学カフェの開催／入りやすい駐車場、駐輪場、車いす、ベビーカーの使いやすさ道路（信号のある横断歩道から直接玄関入口に入れるように。デザイン重視で高齢者等に変不便です！／勉強する学生のための静かなエリア。行ったときにたくさんいらした感じがします／免許センター帰りに立ち寄る施設／アレルギー対応の飲食が出来るカフェ、レストラン／ママ友などのグループで材料を持ち込んで飲み食いできるフリースペース／もっと駐車場を広くしてほしい。以前行った時に停めるところがなくて困ったので。／運転免許センターと連携の取れた施設（親が免許センターに行ってる間子供を預けれる等）／三宅町の日替わりでお店が変わるやつがいいな／障害者の方の物品販売／図書館を飲食と会話可能にして24時間気軽に学べる場に／体育館のような室内で運動できる所／電子図書／乳幼児から小学生までが遊べるキッズスペース／福祉スペースなどもっと複合的に無駄なスペースがないように／無料で楽器(音量の大きい)練習できるスペース／予約のオンライン化／老人が集まれる場所今のままでいい。

「食・くつろぎ」と「新しい働き方」が重視

青垣生涯学習センターの改修・機能追加においては、「食・くつろぎ」を充実させつつ、「新しい働き方・交流」の場と、「地域・子育て」に配慮した機能を取り入れることが、幅広い世代の利用促進につながると言える。

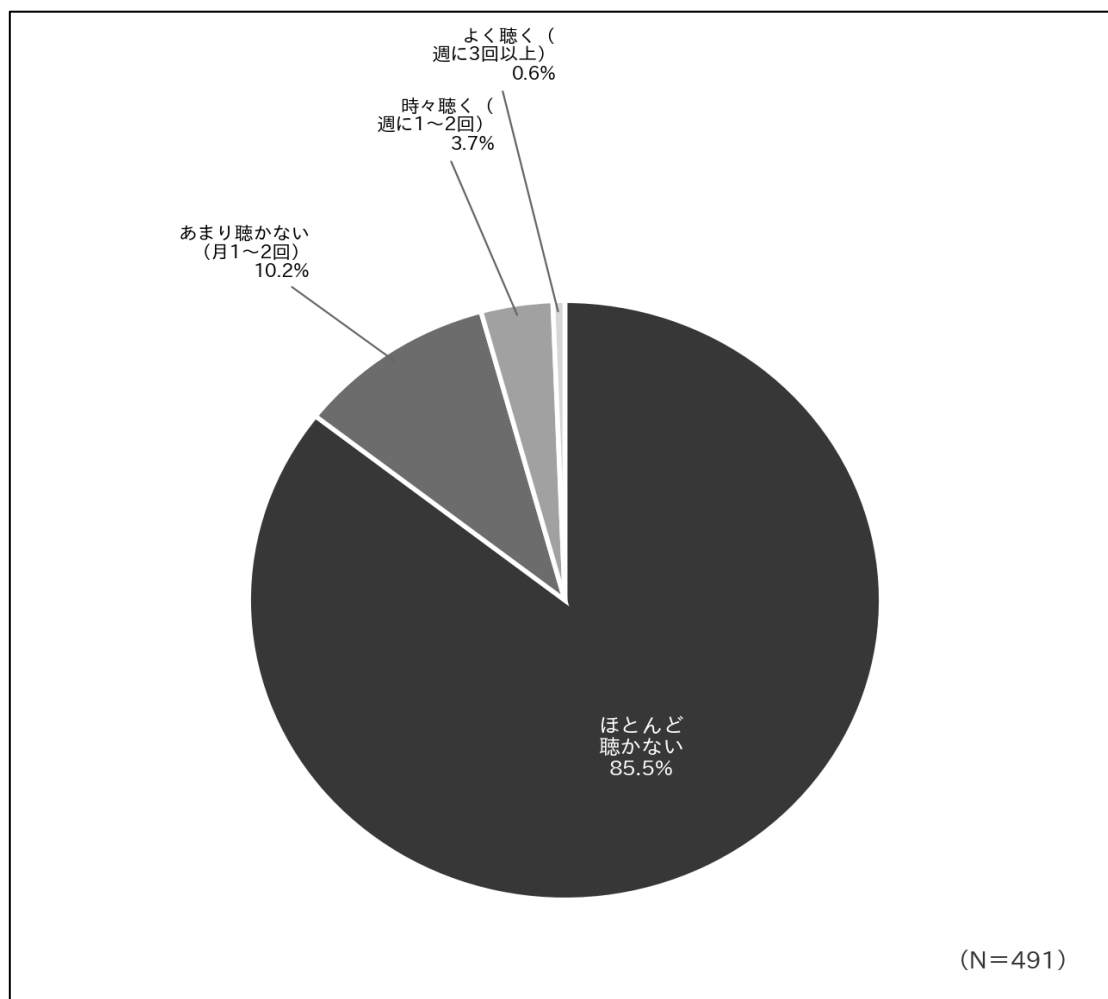
Q27 田原本町がスタジオや設備を整備し、近畿地区初の“公設民営型”コミュニティ FM 局として開局した「FM まほろば」について、当てはまるものを選んでください。（いずれか1つを選択）



約4割が「知らなかった」と回答

約4割が「知らなかった」と回答していることから、従来の広報媒体だけでなく、若い世代や特定の情報源を利用しない層に対しても、効果的な広報手段（例：広報誌の目立つ場所への掲載、自治会を通じた周知、デジタルサイネージの活用など）を検討し、情報発信を強化する必要がある。

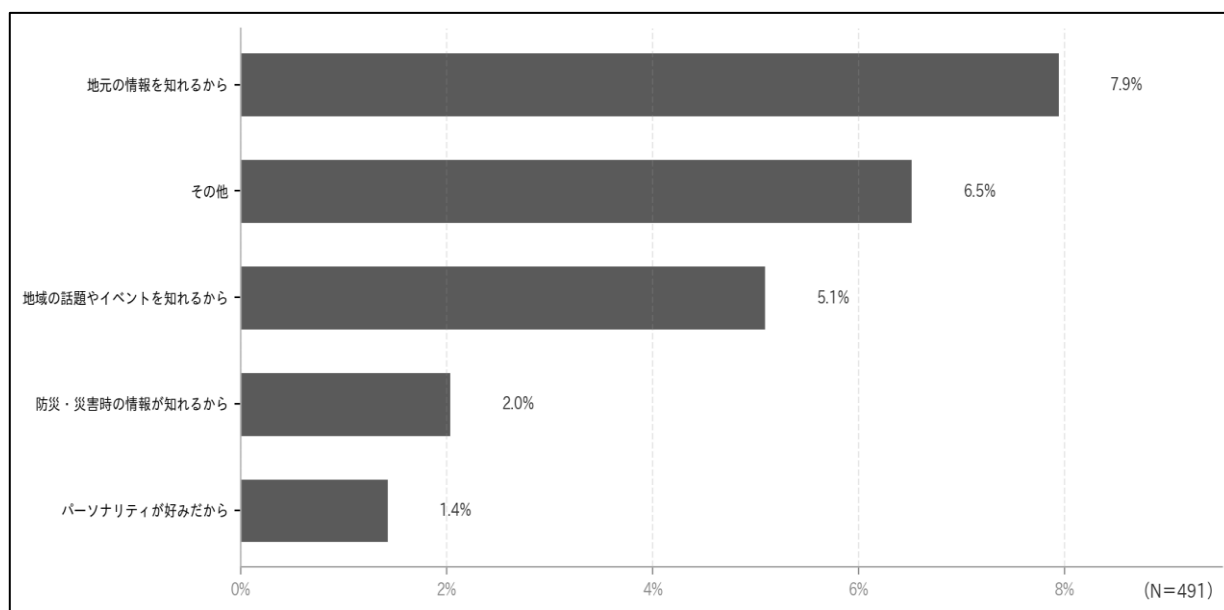
Q28 Q27 で「あることを知っていた」とお答えの方におたずねします。聴く頻度はどれほどですか。（いずれか1つを選択）



認知度と聴取頻度のギャップ

存在を知っていても利用されていないという事実は、今後の FM まほろばの運営において、「認知度向上」ではなく「聴取意欲の向上」や「魅力的なコンテンツの提供」が最大の課題であることを示している。聴取頻度を上げるためには、コンテンツの内容、放送時間帯、広報戦略など、番組制作から情報発信に至るまでの抜本的な見直しが必要であると考えられる。

Q29 FM まほろばを聴いたことがある方は、理由を教えてください。（複数選択可）



「その他」の回答

FM は不必要なものと思う。税金の無駄遣いです。／どんな感じが知りたかった。／一時間出演したから。／運転中にちょうどいいから。／京奈和道があるためかわからないが、電波の飛びが今のアンテナとパワーでは感度が良くない。（特に京奈和道より西側地域）／使う店で放送されていた／奈良テレビや広報田原本の方が。スマートフォンで流す方は視覚がないので今ひとつ！／番組の周波数にあわせることができなかった／あるイベントで知り合った方がある番組を担当していたから／どんな音楽が流れているかたまに聞きます。／選曲が良い。／知り合いがパーソナリティをしている。／特定の町会議員の出演が多いのはいかなものか？／本の紹介のコーナーを以前聴いていたがよく聴き忘れて最近全く聴いていない／役場で流れているから

防災・地域情報・行政情報の3本柱

FM まほろばは、地域情報、防災情報、行政情報という3つの柱を軸に、その価値を最大化していくことが、さらなる聴取者増加につながると言える。

2-5 その他

Q30. その他、まちづくりについてご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

Q30 は合計 238 件の回答を得、内容に基づき、政策分野に応じて分類・整理をした。1 つの回答あたり複数の分野にまたがって記述されているものについては分割し、それぞれに分類したため、全体は 354 件となっている。

※類似意見は一つに集約しているため。

基本目標	政策	件数
基本目標 1 子育ての願いをかなえるまちづくり	子育て	23
	学校教育	17
基本目標 2 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり	地域福祉	7
	高齢者福祉	15
	保健・医療	6
	障がい者福祉	3
	社会保障	7
基本目標 3 潤いや喜びを与える学びとスポーツのまちづくり	生涯学習	13
	スポーツ・レクリエーション	7
	歴史・文化	4
	人権	1
基本目標 4 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	土地利用	21
	道路・交通	52
	住環境	11
	生活環境	23
	防災・防犯・交通安全	15
基本目標 5 賑わいと活力あふれるまちづくり	農業	9
	商工業	24
	観光	13
基本目標 6 住民とともに実現するまちづくり	住民参加	26
	行財政運営	57
	合計	354

■子育て

- 三宅町 miimo のような子どもたちがより集うスペースを学校周辺、もしくは交通のインフラを整えた上で設置すべきかなと考えます。
- 保育施設に金をかけ過ぎ、絶対に異常だ！
- 子育て支援や少子化対策についてはこれから特に力を入れるべき重要な課題だと感じます。
- 子どもが欲しいなあと思っているのですが、近くに親がいないので、そのときに少しでも不安が和らぐ状況になっていればいいなあと思っています。
- 子育て環境について更なる強化と発展をお願いしたく思います。2人目がほしくても経済環境でなかなか厳しい。
- 保育園の待機児童が無くなるように、保育園や保育士の充実と、子育て世帯がもっと働きやすい環境を作って頂きたいです。
- 平野小学校、幼稚園の保護者用駐車場が少なすぎる。幼稚園は下の子が生後1ヶ月から徒歩で登園って言い出すし、夏場30分も徒歩で小学生が帰ってて不安。小学生夏場だけ希望者スクールバスは無理ですか？
- 子供が楽しめる遊具、年配も使える健康遊具がある公園。
- ここに住んでみたい、子育てしてみたい。子育てしたらこんなに充実していて安心して暮らせている。
- 中高生遊ぶ場所増やしてほしい
- 子供を連れて安心して遊べる場所も少ない。雨でも遊べる施設があれば子育て世代は集まる。共働きは当たり前の時代、病児保育や土日の保育を充実させた方がよい。
- 町づくりのためにはまずは子どもの数を増やすことだと思います。子どもに重きを置いた政策は重要だと考えます。
- 妊娠中、パートを辞めるしかなく辞めたが、保育所に入れるか不安。
- 保育園の充実を急速にしてほしいです。子育て世代が、自分の仕事も充実させながら、子どもを地域全体で育てていく仕組みをさらに作ってほしい。
- 子どもたちが遊べる場所が増えてほしいです。夏場など公園で遊ばせることができず、家で過ごすことが多かったです。公園の環境整備もお願いします。
- やすらぎ公園の遊具がなくなったので、遊具があれば子どもたちの遊び場ができると思います。
- 夫婦フルタイム勤務ではなくても、保育園に入れる仕組みを構築してほしいです。保育園入所後に時短勤務に変更したとしても退園させられるような対応はやめてほしい。

- 子ども達が大きな声で泣き笑いでき自由にのびのびできる環境と、勉学に必要な支援。子育て世代が増えないと高齢化が進むのでは。
- 子どもの遊び場、特に屋内遊具が有ればうれしい。
- 学童の拡充や放デイへの支援。子どもがゆったりできる場所が必要だなと思います。
- 保育料の低減をしていただきたい。
- 子育て世帯が仕事をしながら育てていくための支援や制度の充実も必要。新婚世帯を対象とした新婚家賃制度による若い人達の町内定着も必要。
- 子供たちの遊び場が少ないので、公園をもっとふやしてほしいです。

■学校教育

- 合併する小学校の名前のまほろば小学校になり、田原本小学校という町の名前が消えてしまうのが寂しいです。給食が自校炊飯でなくなるのも子育て育成からは離れてしまうのではと思います。
- 不登校の子どもへの支援、学校教育の見直し。
- 中学校はひとつでもいいけど、幼稚園と小学校は大字にひとつくらいの勢いで、重い荷物を持って毎日通うだけで疲れ果てない環境が必要
- 各学校の施設ももっと充実させて誰もが危険なく楽しめるようにしてほしい。
- 小学校統合の話が進んでいるようだが必要性があるのか疑問に思う。少人数で育てるような分校があるのであればそれはそれで良いのではないか。プールがなくなって水泳教室を外注にするというような記事を読んだが統合によってせっかくあるプールがなくなってしまうというのは残念だ。
- 校区も再編され、場所によっては学校から遠い児童もいます。安心・安全な通学ができるような公的な支援をもっと強く行政に求めていると思います。
- 田原本中学校も建て替えの検討が必要。
- 学校でトラブルがあった時、子どもが学校に行きたくないとか行けなくなった時、相談できる場所や親子どちらも受け入れてくれる場所がほしい。
- 学校給食の在り方について。塩分が多い日も見られます。組合せを変えるだけで解決できるのでは。
- 小学校の給食室にエアコンがないと聞きました。窓も開けられないので、夏場は大変だと思います。
- 学校も統廃校されるばかりで、この地で子育てをしようという人は減る一方だ。

- 町立中学に子供が通っていますが、落ち着いて勉強ができる環境ではない。幼稚園の施設も老朽化がひどい。小学校のトイレもとても汚いようで子供達は学校で行くのを我慢している。
- 幼稚園や小学校の統廃合で、通園・通学が不便になるのは仕方ないが、小さい子供に何キロも毎日歩かすのが不安。夏はこの暑さで、交通量も増えているので心配になる。子育て世代に優しいとは全く思えない。
- 教育、子供には力を入れてもらいたい。
- 教育の抜本的見直し。
- 小学校の統廃合は仕方ないけど、通学の安全や見守り体制は万全にしていっていただきたい。未来の子供が充実した教育を受けられることを願ってやみません。
- 中三の孫は塾に行き毎月何万円もの塾代がいる。塾代以外にも教材費や模擬試験、夏期講習、他本当にお金がかかる。小中は義務教育で行けるがカバンや制服、体操着、シューズ他目に見えないお金がいる。

■地域福祉

- もっとそれぞれの世代の得意なところを交流してほしいです。交流ができれば、さらに防災、災害対策などもスムーズです。
- ボランティア活動している人に付する保険（ボランティア保険）、町民同志の交流。
- 近所付き合い、地域との関わりが少なくなって来た。高齢者夫婦、父子・母子家庭など月に数回、週に1回と見守りを兼ねた声掛けと交流を進めていける様な方法を考えてもらえればと思います。
- 住民同士の交流の広がり、多様な立場の人々の参加できるように、施設を各地域に点在させる必要がある。行政視点の効率や利便性ではなく、住民目線で進めてほしいですね。
- 高齢者と児童の異年令交流(将棋など)ができる場所がほしいです。
- 子育てや高齢者に特化した政策だけではなく、どの世代の方々も楽しく生活できる街であれば良いと思います。
- ふれあいセンター、子供が小さい頃はよく利用させていただきました。町在住の者しか利用できないのが不便です。1人でも町在住者がいるか、カードがあれば他の市町村の者でも利用できるようにしてほしい。

■高齢者福祉

- 親の介護においても政策や施設が少なく不安が残るばかりです。

- お年寄りも気を使わず地域交流に参加し楽しく暮らしている。
- 高齢化、少子化にいかに取り組むか。
- 終活支援・高齢者世帯の見守り支援などの充実
- 高齢者や体の不自由な方々のためにも食料品の移動販売車を走らせてほしい。スーパーは、たくさん田原本町はあるけれどもタクシー利用して行かなくてはならない。
- アンケートには子育てというコトバが多いですね。老人の事を考えて下さい。
- 子育て支援に集中し過ぎている気も少し。軽度の認知症だけど、もう進んで欲しくないなという両親を持つ方もいらっしゃる。
- 年配の人が買物出来る所がふえてほしい。今(81才)で車で買物出来ていますが、車に乗れなくなった時を思うと不安です。
- 子育て世帯だけでなく中高齢世帯にも福祉の充実や支援（買い物や生活全般）が必要。
- 出られる所、老人として参加出来るといいなあ。人との出会いが大切、老人に対して。
- 高齢者の体操教室や趣味の場所がなくなりました。町会議員の選挙で高齢者に生きがいとか高齢者の居場所づくりとかいわれてますが何をどうしていくのか全くみえません。
- 当地域は高齢者が多く、病院、買い物等もタクシーやデマンドを利用されている方が多くおられます。昔のように雑貨、日用品など近くまで売りに来てくれる商売店があれば。
- 高齢者の智慧やキャリアを活用する事で人手不足を補い、若い世代と交流する。
- 老人保健センターの積極的な運用で町民の憩いの場も継続して使用出来るようにすべきであると思う。
- 町内のタクシー移動については、タクシー券を母ももらう事があるのですが初乗り。

■保健・医療

- 住民が寿命の限り健康に安全に生活出来るように引き続き取り組んでいただけると助かります
- 高校卒業まで医療費完全無償化を希望します。
- 病院も少なくなりましたね。
- 国保病院も充実化してほしい。診てもらえる科を増やしてほしい。医療器も整えてほしい。
- 田原本町の国保病院・リハビリセンターは町の医療の柱です。開業医の先生方でスリッパにはきかえて診察室へ行く昔ながらの医院が少なからずあります。これは不潔なことだと思います。
- いろんなかかりつけの病院が地元がないのも不便です。

■障がい者福祉

- 障害者や高齢者、いろんな世代が楽に過ごせる場所がいいと思ってます。障害者に関しては、土手のある公園があれば助かりますし、体が大人でも過ごせる公園ほしいです。
- 障害者が安心して暮らせる町(行政の支援など)
- 子どもが障害をもっていて、就学が希望通りいけるのか不安なため、支援学級の強化・支援員の増員を希望します。

■社会保障

- 他の市町村に比べて、田原本町は物価高騰に対する援助が少なすぎる。
- 物価高が続いているので、追加で地域振興券などあればありがたいです。
- 生活していく上での金銭面の支援（例：商品券の配布、色々な補助金制度の確立など）。補助金制度も全部で何個あるのか不明なこともあるので住民に手紙などで知らせたりして欲しいです。
- ひとり親世帯でした。とにかくまちづくり等意見や要望なんて余裕もなくただただ必死に仕事し生きています。
- 非課税世帯だけでなく低所得～中所得世代にも支援（給付金など）があればと思います。住民税も高い！
- もっと経済支援をお願いしたいです。
- 誰かの援助がなければ子供が二人、三人といってもとてもじゃないが同じ事をしてあげられない。

■生涯学習

- 図書館が大好きなので、今後も大事にしてほしいです。
- 駅前に学生が静かに無料で勉強できるスペースがほしい。図書館は駅から遠すぎる
- 早急に受験生だけが利用出来る無料の私語禁止の部屋を作ってほしいです。桜井市にはあるのでそこに通っています。田原本町にもある事はあるんですがやっぱりうるさくて。
- 一学生として気軽に勉強ができるスペースを作ってほしいと思いました。
- 電子図書を早く導入してください。外側だけ立派にしても意味がないと思います。
- 青垣生涯学習センターを利用していますが、エアコンの故障が多発（特に図書館）。充実した環境づくりを特にお願ひいたします。

- 青垣生涯学習センターには、行った事はありません。施設内にはどのような事をされているのか。もっと施設内では何ができるのか、道路を通るだけでもひとめで分かるようにしてもらえたらと思っています。
- 読書離れが進み、町内に本屋さんがなくなり、巡回図書があれば便利だと思います。育児中のお母さんは絵本のよみ聞かせや参考になるので楽しいと思います。高齢者は趣味の本も沢山あると思う。
- 公共施設はあるが活用されていない。ふれあいセンター、運動公園、地域の公園、効果的な活用方法を工夫し活性化を図る必要がある。
- 青垣生涯学習センター、唐古鍵遺跡史跡公園について来場者数を田原本町として把握すべき。
- 生涯学習センターは図書館を中心に利用していて、勉強や情報収集に役立っている所以今後も積極的に利用していきたい。
- 図書館の開閉時間について、開館時間 9:30～を 9:00 にしてほしい。閉館時間 17:00 を 18:00 か 19:00 にしてほしい。

■スポーツ・レクリエーション

- 以前検討されていたサッカースタジアム建設とカフェ誘致があれば一気に人の流れが変わると思います。
- 中学校に限って言えば、全部活に地域クラブがないのはどうするつもりなのか知りたい
- 中学の部活動が地域移行となり運動する時間が減ります。田原本町には中学生が入るクラブはあまりありません。小学生が入る活動クラブも他の市町村はもっと色々な種類のスポーツがあります。田原本町でも幅広いスポーツを。
- 地域の交流を諮るため町民が皆参加出来る秋の大運動会のように各大字から何人かは必ず参加するように働きかけてスポーツも盛んになるようにしていく事が良いかと。
- 中央体育館で健康体操に参加しているが今年の酷暑はきつかった。冷暖房を完備してほしい。
- 今年の春まで体操教室があり体力向上、親しい人に会える、リフレッシュできていたのに財政難でなくなりとても残念です。
- 体を動かすための場所が中心部にあれば。

■歴史・文化

- 旧村におけるしきたり等が負担になることが多い。当屋に当たるとかなりの労力と金銭的負担が大きい。無形文化財というなら、町や国・県が負担してほしい。旧村では古くから続いている行事に参加しないといけない。
- 東は三輪山からの日の出。多神社。そして彼岸花が咲く堤防の彼方の二上山に沈む大きな夕日。大和の原風景。
- 町の歴史と文化を活して欲しい。太安万倍さんと唐古鍵遺跡。能面や銅たくも。唐古鍵の絵画土器から孝霊の御代の乱をおさえた吉備津彦命等。
- 田原本町は奈良盆地の中央に位置しているにも関わらず自然を感じる田畑に恵まれ町並みも歴史を多く語る貴重な風情を残しています。各地で彩られる祭りがこのような流れを裏付ける事実として賑わいを物語っています。何を引き継ぎどのようなことを新たに興すか。

■人権

- 旧村、新興住宅地との隔たりが無く、古い悪しきしきたりを見なおし、平等で平和で調和のあるまちづくりを望みます。

■土地利用

- 駅前東側も整備してほしい
- 田原本駅東側の整備を早くしてほしい
- 田原本駅周辺の街を、もっと新しく、今時に合うスタイルに変えて行ってください。
- 青垣学習センター周辺の整備も今後の町の活性化には重要な要素の1つです。免許センターの誘致に加え。
- 田原本駅東側改札を出た区画の整備を図ることで街の顔としての表情が大きく変わると思う。今は雰囲気はかなり悪い。
- 商業施設は田原本駅や役場を中心とする、観光は道の駅を中心とするなど地域を限定する必要があると思う。
- 駅を中心に町は発展するので、駅前の整備や飲食店などがあれば人は集まり、活性化される。駅周辺は道路も狭く危ない。
- 田原本駅と西田原本駅を渡り廊下でつなぎ、駅ナカに飲食店があればいい。
- 地区によって人口密度に差があります。少ない人口のところにもっと焦点を当てれば、住みやすくなってバランスのよい町になると思います。

- 田原本駅東側周辺の町づくりの検討（古民家・空き家が多く、暗いイメージがある）。田原本中学校の向かいの旧体育館があるが、早く解体し、地域住民が集える広場や建物を計画すべき（防災機能も必要）。
- 免許センターが田原本に来るなら、免許センターの周りに飲食店を作ったり、にぎやかにする。青垣学習センターと連携させる。
- 田原本駅の東側も整備してほしい。
- 田原本駅東口の再開発に取り組んでほしい。
- 田原本は、他の市町村と違い、住宅と田畑等が共存している。
- 駅前には整備されたものの東側は個人商店はシャッターがおち、寂れた印象で残念です。
- 田原本駅前の整備。人が集まる広場（店舗など）
- 土地の有効活用を計画的に実施する。（宿泊施設及び交通の整備を含む）
- 東校区はだんだん人口もへり、なにもかもなくなってきました。もう少し農地が住宅地になるように考えてほしい。農地を売買するのは農業者だけと聞いているので、おかしいと思います。
- 田原本町の各駅前周辺（特に田原本町駅）の整備。奈良盆地の中心、交通も至便な事を活かさないか。
- 京奈和自動車道の沿道から概ね 500m 以内の区域を新たにものづくりエリアに追加されたが、農地転用が出来ないため土地利用が出来ない。ものづくりエリアに設定するのなら規制緩和を望む。
- 田原本駅の東口の再開発。ごちゃごちゃして狭い。車の離合がしにくく歩行者も危険。

■道路・交通

- 東西間の移動手段特に公共的な手段の欠如！
- 道路の凸凹を整備して欲しい。通園する際に決められた通園路を自転車で送迎しているが、狭い凸凹で何回か子どもを乗せた状態で転げて危険な目に遭っています。もう一度、通園路の安全確認に力を入れていただきたいです。
- 駅までなどの移動手段(コミュニティバスなど)を充実させて頂けたらとても暮らしやすい田原本町になると思います。
- 将来のことを考えると、交通手段の少なさが不安です。田原本はバスも通っていませんし、毎度タクシーを呼ぶというのも現実的でなく、車なしに生活するのは相当厳しいです。移動手段が増えると嬉しいです。
- 車の通行はかなり多いですが道幅も狭く不便すぎます

- 歩行者が利用しやすい歩道をもっともっと整備してほしい。
- 駅前の東口の道が狭い為、電車を下りた時、迎える車や人で通りにくい時がある、もう少し広いといいんですが
- 町内の道路網の悪さをどうにか出来ませんか？車も人も安全安心な道路を構築することで解決できることがたくさん有ると思われます。道路と駅周りを広々させることだけで魅力有る町になると思います。
- 田原本駅周辺だけでなく、笠縫駅を利用しやすくしてほしい。車のためだけでなく、自転車や、歩行者のことも考えた道路の整備や、メンテナンス。
- 京奈和道など県内南北を繋ぐ道路の整備が進んでいます。南側へ行くインターの整備と東西の道路整備が必要だと思います。
- 田原本駅の高架化をして、踏切をなくす事とその高架下の有効利用をして欲しい
- 役場への川沿いの道の補正
- 免許センターが運営されるようになれば、青垣センターの利用者は必ず増えるので、スタバや農産物を販売したらどうか。免許センターと田原本駅のバスを設置。
- 田原本町内を移動する手段が自家用車かタクシーしかないのが不便。病院やスーパーや駅などに止まる、どこで降りても数百円ほどで乗れるバスがあれば利用したいです。
- 町中の道路の整備。
- 田原本駅からのシャトルバスがあればいいと思います。唐古やレスティ、青垣生涯学習センター等への。
- 道を広くしてほしい。
- 田原本インターチェンジの実現。田原本に移転される自動車学校へのルートとなる道や周辺の整備。
- 高齢者が道の駅や鍵・唐古遺跡などであるイベントに行きたくても車や自転車などでしか行けないため、イベント中には田原本駅などから送迎の車などあればいいかなと思います。
- 青垣センターまでの交通が遠いので、1日1回でも巡回する小型バスなどあればよいです。
- 国道24号線沿いの歩道があまりよくないので、小さい子ども連れや高齢者には不安があります。
- 75歳の高齢者ですが、近くにスーパーがあるにも関わらずそこへ行くための交通手段が不足しているように思います。バスを利用していました。移動手段をこれから考えてほしい。
- 駅近はさびれた商店街ばかりで道は狭くバスも通れない。高齢者がほとんどの町でありながら、駅まで歩くには遠すぎるのに、バス等が無い。

- 免許センターと田原本駅のバスを設置。
- 道路が狭い場所がとて多いので、車での通行がとて不便である。狭い道路に電柱があるとさらに狭くなるので、電線を地下に埋める等の対策も考えて頂けないだろうか。
- 中八尾からローソンに向かつての歩道を整備してほしい。
- 駅周辺の車が通れない細い道路も、歩行者がある所はきれいに遊歩道として使えるようにしてもらいたい。
- 路線バスを開通してほしい。
- 病院やスーパー、駅などをまわってくれるコミュニティバスを運行してほしいです。不便を感じています。
- 田原本駅に特急停車(朝と夜限定)でもしてくれれば、王寺方面へ行ったり来たりするための接続改善につながればと思います。
- しきの郷から平野小学校までの路面、大きく凹んでいる箇所があります。他にもリハビリセンター裏がわなど路面が荒れている箇所が多いため、安全に通行できるよう補修して頂きたいです。
- 旧町内の道路がせますぎる。駅の東側は田原本の玄関とも言えるので、道をひろく、すっきりさせて欲しい。
- 24号沿いにバス停があったので八木駅に行くのも楽でしたが今はお店がほとんどなくなりましたので車がないととて不便です。便利な交通網が必要ですね。
- 京奈和道の充実。年をとってくると、交通手段の充実、買物など。
- 車が運転できなくなっても困らない交通手段を整えて欲しい。
- デマンド交通が10月から拡大、料金の件有難く思っていますが、今後、高齢者がますます多くなり、小型バスの運行の検討をお願いします。
- 田原本も東西南北と広く、公共のバスが通れば、より便利でしょう。高齢者や子供、車の運転出来ない層のこと全体のことを考え、住みやすい公共交通の充実を希望したいです。
- 公共交通機関の整理(駅から各集落へのバス運行など)。田原本町は駅、買い物、病院等に行くのに車が必要な人が多い。高齢化がさらに進めば高齢者の運転が増え危険になる。
- 移動手段なんです、せっかくいい催し物があっても子供達が行くすべがない、必然的に親の送迎が必要になる。
- 道路の整備は出来ていると思うが、歩道の確保が出来てない場所が多いと思う。今後歩道整備を進めてほしい。

- 国道は変わらず古いまま、ガードレールもなし。歩道のない国道を自転車で外国人、地域の人、学生が走っている。40年以上も国道整備はなく、歩道橋もあるべき場所になく。小学生、中学生が通学で通る向けの道と歩道橋の整備は早急に。
- アスファルト道路が自動車の通行が多くアスファルトの損傷が多くなっています。自転車で通行時ガタガタのため運転しにくく転倒しそうに何度もなった。損傷のひどい道路については即時アスファルト全面工事で通行しやすい道路を希望します。
- 田原本町の発展のためには、道路整備及びライフライン等の拡充。
- 古い町並は道路もせまかったりして通りづらいことも多い。
- 田原本の端から端までとスーパーと病院と結ぶバスが欲しい。
- 自転車移動では道路状態が悪いため安全とはいえない。車道を走行するのが道が狭く怖い。
- デマンド交通タワモの利用について、もう少し大きな車、他の市町村ではコミュニティバスが走っているのを見かけますが、田原本町も参考にさせていただきたいです。
- マンションの前の道路も広くするといいながら何年も経ってます。
- 早く田原本 IC を開通して欲しい。高速があるのに IC がないのは不便。
- 役場の正面のみではなく、凹凸や傾斜のない道路整備が必要。車椅子の人が通り辛そうなのを見る。
- 田原本の東西の交通網があれば、例えば田原本駅→生涯学習センター→中央体育会館→ふれあいセンターなど。
- 道が広くきれいになれば住宅・土地購入の際の判断材料の1つになります。道路修復を。

■住環境

- 定住するための一軒家購入も田原本では支援や政策がなく、厳しいのが現実です。
- 空き家対策も含めた災害対策。
- 景観に配慮した、美しい駅前を維持して欲しい。
- 投票時、投票場所(平野幼稚園)の地面がぬかるんでいたことがありました。車いすでの走行がしづらい状態でした。
- 田原本町は奈良市と橿原市の二大都市の中間にあり、自然を大切に、住環境を整えれば、人は集まってくるように思います。公園や病院、ペット同伴で遊べる施設が不足しているように感じる。
- 車の軽自動車の車庫証明を必要とした方が良い。無断駐車が多すぎて迷惑すぎる。

- 美しい町も変化。時代に押され、昔、三輪山が見れた場所も、今は工場の屋根、鉄で見えなくなった。
- 一戸建ての賃貸は今若い人の中でも需要があり、高額なローンを使用せず一戸建てに住めれば移住、定住が増える。
- 住みよい町だと思っています。空家が増えさみしく感じます。同居する人への手助けや古い習慣も見直すなど方法はないのかな。
- 田原本町の規模、立地を考えると周辺都市圏のベッドタウン化を目指すべきであるが近隣自治体にその立場を奪われている。鉄道、商業施設等住環境の整備を統一にすべき。
- この頃空き家が増えてきて増々これ以上増え続けていくことは目に見えてわかる。早くにそういう積極的に対策をしてほしい。

■生活環境

- 保護猫活動を支援できる自治体になると良いと思う
- 水道水が美味しくない。川や用水路が汚い。
- 町経営の火葬場を復活してもらいたい。非常に困っている。
- 家庭ごみについて決まった日時の収集だけでなく、持ち込むので常時（特に土日）引き取ってもらえるようにしてほしい。
- 公共トイレ(公園や中央体育館等のトイレ)を綺麗にして欲しいです。田原本町の住民だけでなく、訪問者へもよいまちのアピールの1つにもなると思います。
- 川沿いの整備がなされていなかったり、雑草が伸び放題で荒れていたりするのが気になります。散歩がしづらいし、見通しが悪いなど危険も感じます。アスファルトばかりではなく、緑あふれる町づくりを望みます。
- 自治会を通じて自宅の水路の補修をお願いしたが、長い間来ないので再度お願いすると補修に来たが、もっと早くしてほしい。
- 高齢者への都市ガス変更支援も重ねてお願いしたい。プロパンガスが道の前に設置してある事に違和感を覚える。
- これからも四季折々、素晴らしい風景を見せてくれる田原本町が続いていくことを望んでいます。
- 粗大ごみを無料で引き取ってほしい。手続きがややこしいので簡単にしてほしい。ごみ出しのアプリには掲載されていないものが多々あり困っているので掲載してほしい。
- 主要道路の路肩の雑草を減らせるよう整備して欲しい。

- 犬猫と暮らしているのですが、人、動物、植物すべてが共生して生き生きと暮らせるまちづくりを希望します。
- まちの環境、美化を重要とするなら今以上に主要道路に生える雑草の刈り取りを実施してほしい。
- 京奈和道の下歩道に関して、草刈りの頻度を増やすよう要請してください。広い歩道なのに草で獣道のようになっています。
- 道路中央に溝で排水出来るようになっているが年数がたっていくと溝内に土が入り草等生えている。
- 野良猫が多い。フンをされるので対策してほしい。
- 川沿い、道路脇の雑草をきれいに刈りとり景観を維持しているまちづくりをしてほしいです。道路はせまくボコボコだったり割れていたりで草がその割れ目や脇にのび放題。ゴミが投げ捨てられている印象です。

■防災・防犯・交通安全

- 警察と連携して、安全安心なまちづくりをお願いします。深夜に暴走族がうるさいように思います。
- 不安な事が多いですが働かないといけないので子供たちにかかわらず大人も安全に住めるように防犯活動にも力を入れて欲しいです。
- 最近、村の狭い道を抜け道として使われ交通量が増えている状況です。小学校の通学路でもありますので、何か通り抜けを防ぐ方法がありますか？
- 薬王寺ローソンの交差点、車も多いので押しボタンでなく、感應式か普通の信号にしてもらいたい。
- 安心して住める町づくり。防犯強化をしっかりとお願いします。
- 忍び込みや空き巣の報告において田原本の文字が他の地区よりよく見かける気がしています。防犯カメラなど抑止につながる取り組みをお願いします。
- 防犯の対策として、住宅街に入ると街灯が少なく怖い所も多い。住宅が多い所は門灯を設置(補助金などあれば)してもらおう。住宅が少ない所は街灯の数を増やす。
- 外国の方が住んでいらっしゃると思います。農家さんが作っている野菜などを盗っていく人もいます。子どももいてるので、どうか一人でも安心して歩けるまちを守って欲しい。

- 大雨で川の増水、氾濫対策をして欲しいです。寺川沿いに住居が有り、川底の土砂、ゴミの撤去をすることにより増水をおさえられるのではないかな。
- 交通安全対策の推進について。交通安全対策については生命に係わる最重要課題であることからより積極的な信号機の設置対策をお願いします。味間地域に設置されている歩道橋の交差点は信号機が未だ設置されていない。
- 治安はほかのどのような恩恵にも勝ります。治安(安全)が保証されていれば住民は定住した外部からやって来ます。
- 私が引越ししてから9年目になりますがその間で事故が何件も有り不安です。子供達、高齢者が安全、安心に暮らせる町を作ってください。
- 街灯を増設し歩行者の安全を計る為にバリケードをコーナーに取付けてほしい。
- 駅前の立ち飲み屋に車で来ているが飲酒運転ではないか？警察と連携して対処していただきたい。

■農業

- 自分が経営している会社で、農業事業部を作り、新規で農業を始めようと準備をしているのですが、参入障壁が高いように思われます。新しく参入しようとしている地元の企業に対して、援助や支援があれば嬉しく思います。
- 地域特産品（農産品ほか）の創出。
- 害獣対策(補収)に、町全体がもっと真剣に取り組むべきです。
- リハビリセンター辺りから眺める一面の水田。田園風景は田原本町に残された唯一小間切れの無い、素晴らしい景観ではないかと思います。この景観を保持しつつ。
- お米不足に直面し、農業の必要性を実感したので農業支援が必要なのではと思った。
- 唐古道の駅で無農薬野菜を増やして欲しい(販売)。
- 地産地消に関するものがあまりない。
- 大和野菜の味間芋、いちご、吉備団子、古代桃、ももたろうの町。
- 雑草だらけの休耕田を解消する。景観を損なうし治安、防犯のうえでも重要。

■商工業

- 田原本駅周辺の商店街が廃れている印象があるので勿体無いなと思います。商店街の部分に可愛いカフェや食べ歩きができるようなお店が増えれば、若い世代の人達が増えて活性化に繋がる気がします。

- R24 沿いに商業施設やレストランができるといいです。
- 本屋がないので誘致できるなら嬉しい
- 働き口が少ないということと、そう言った人たちが相談できる場所が限られているのが悲しくは感じる
- 中心商店街の衰退は、町の根幹に関わる問題であるにも関わらず、半世紀以上も具体的な進展がない。商業活動を行っていない家庭が増えたことで、衰退に拍車かかった。
- ショッピングモールやホテルなどを誘致し、タワラモ豚や地元農産物を使った商品を作ったらどうか。
- 休日は田原本町内で何かしようとはほとんどならないので、大型商業施設や子どもと過ごせる場所がもっとあればありがたい。
- スタバの様なカフェを誘致してほしい。チャレンジショップなど青垣生涯学習センターにつくればいいのと思う。
- 特産品、観光の目玉を作る。ここでしか無いものを。
- 公営ギャンブルの券が買える場所の提案。3階建てで飲食・販売施設。
- 町内の店舗は経営者の高齢化と後継難と思われるのか以前の活気がない。
- 最寄りのスーパーに関しては、エバーグリーンしかない。多くは檀原の中和幹線沿いに行くことがあり大変不便。年金でやりくりしてる人には高く感じることもあり、近くて安いスーパーを求めている。
- 少子高齢化と人口減少は今から対策を取らなければどんどん未来へ負債を残すことになります。地方から人が都市部へ流出するのは、まず第一に働き口がない。
- 企業のテナント物件が不足し、空き家や空き地の活用ができていないようにも見える。
- 田原本町は土地が高いとよく聞きます。家賃なども高いため、チェーン店など都市への移動も多い。買い物の不便も多い。
- 図書館・体育館までの道路、周辺にコンビニ・飲食店がなく困る。

■観光

- 田原本はアピールする良い所がまだまだあると思いますが、活かしきれていないように思います。プロの SNS 発信する人などをお願いし、外部の人に向けての情報発信のやり方次第でもっと活発な町になる。
- 名物のオブジェがある道の駅(今は映える道の駅がバズる)。魅力ある田原本町にしてほしい。

- 田原本町の自然環境を最大限に活かし、他府県からも行ってみたい、遊んでみたい、ゆっくりしたい、美味しいものも食べて、自慢の農産物も買いたい。
- 田原本町は奈良盆地のほぼ中央に位置しています。丹田が身体全体の呼吸・安定・調整を担うように、田原本町のまちづくりデザイン提案。
- 楼閣やお寺や神社、朝ドラのロケ地など色々あるのに田原本町の人以外知らない場所がたくさんあるのはもったいないと思う。
- 唐古の道の駅をもっと有効に使えたらいいと思うし、公園へのイベントの誘致等他県の方々にも多く来ていただける環境づくりをしてほしい。
- 田原本だけにとどまらず、奈良県に言えることかもしれませんが、宣伝・アピールの仕方が下手かと。どこか1か所でも観光できるところ・食べ歩きできるスポット・映えスポットがあればいいかと。花が咲き誇る場所や歴史的ストリートがあったら楽しくのんびり過ごせるかと。
- 鍵の道の駅：他県から来客される様な目玉ランチを充実させて下さい。鍵の公園：有名アーティストなどの屋外ライブ、イベントなど。桜並木をもう1筋ふやして桜の森にする。
- 唐古・鍵遺跡史跡公園でのイベントを増やしてほしい。
- 観光業はあまり進めて欲しくありません。主要道路が少ないのにイベント等で混まれるととても不便でした。住宅の多い町なので外国人観光客が増えるとトラブルが増えるのではと懸念。
- レスティの唐古はよく利用します。大好きな場所なので、もっと大きくなってほしいです。もっと名物、話題のグルメもできたり増えていったらいいのに。

■住民参加

- 今後のまちづくりに期待してます。
- 田原本町民ファーストのまちづくりをお願いしたいです
- アンケートの結果を知らせて欲しい。
- 豊かな自然と文化遺産適度な人口の資産を有効に活用し町民、町職員一体となった共生の町づくりが必要！
- 誇りを感じない
- 今回、田原本の知らなかったイベントやSNSの事も知れたので良かったです。改めて田原本の事を考える機会をありがとうございました。
- 総合計画策定にあたり今回実施したアンケート結果をどのように織り込んだか、然るべき時期に公表するようにして下さい。
- アンケートが答えにくい。質問と選択肢が多い。

- 興味・関心の無い為、又、参加もしていないので現在の状況が判断しづらい。階層に合った設問にしてほしい。
- 初めて知ったアンケート。毎年続けてほしいです。田原本町役場でアンケートやってほしい。
- アンケートに答えたり選挙に参加したり何かを積極的に行うことで、たとえゴミ袋1枚でも頂けたら少しばかりの意欲のようなものが湧いてくるのでは。
- 住民協議会は参加できません。子育て世代は子どもと過ごすので参加できないと思います。子どもと一緒に参加できることやキッズスペースなどを設けてほしい。
- 地区には、古い住民が、他所からの若い人がせっかく移住してきているのに、あまり積極的になじもうとしてないように思います。若い家族が住み続けられるように。
- 住んでおります大字も世代交替が進み、平均年令が大幅上がっております。自治会の役員のなり手も徐々にリタイヤを申し出る人も出てまいりました。住民協議会のメンバーのことです。
- 町長とカフェなど新しい試みもして頂いて一般の人の話を聴こうとして頂いていることがとても嬉しいです。
- 住民協議会参加について。日程が決められているので参加がむずかしい。フリー参加型にしたい。図書館などでフリーに月1回程度住民同志で話し合いが出来る場をもうけていただきたい。
- 地域自治会活動への支援(公民館・公園等を町で管理して欲しい)。地域自治会での自治活動は、参加・不参加の不平等性から高齢化が進み少ない若い人たちが重労働に駆り出される。
- 第5次総合計画策定に田原本町住民及び担当部署の職員が最低でも6~10年は継続してかわれる様にしてほしい。もっと住民参加の機会を設けてほしい。
- 集会より前に意見を出せる場があればいいと思います。お店に貼っているお客様の声のようなコーナーがネット上に分野別にあれば時間に追われている博識な方の意見もたくさん集まるのではないかと。
- 世代替りの時代に来ていると思う。良い風習慣習は残しつつ改革して行く事が必要。皆が豊かに暮らせる町に。
- 住民アンケートを記入して、改めて田原本町について考えることができました。町民一人ひとりが、まちづくりに関心をもつことが大切だと思いました。
- 若者の町議会等への参加が少なすぎる。町議会へ若者が参入できるよう選挙費用の一部～全額の負担や保証、議会の見える化を徹底すること。

- 豊かな自然と文化資産、適度な人口のある田原本町を発展させる為には、町民、町職員一体となった共生の町作りが必要なのでは。
- 今後、住民協議会の内容をすべてラジオでも良いので放送して欲しい。
- 転入して10年未満でまだよくわからないことが多い。第4次の計画についてははじめてしりました。

■行財政運営

- 職員多忙はわかるが、役場窓口を委託にする必要は無いと思う。委託に税金をつぎ込む分を高齢者に優しい町にしてほしい。
- 財政赤字を減らすべき対策をもっと積極的に行って欲しい。
- 最先端の技術・制度が早く導入できる町にしてもらいたい。
- こまめに計画や結果、収支の現状を広報誌などで報告してくださり安心感があります。
- 町施策が後手に回っていることだけが私たちの情報として入ってこないように感じている。
- 行政の方はもっと、田原本の優れたところをアピールすべきだと思います。現住民にも何処が優れているか説明すれば良いと思います。
- 情報発信について、X（旧 twitter）での配信してほしい。Facebook やインスタは登録が必要、LINE は危険。
- 目標を多く立てずに少なく注力して特化した政策を行えば、しっかりとした町の基盤が作り上がると思います。ひとつひとつ、急がずじっくり達成していくべき。
- 田原本町民が町外の返礼品目当てでふるさと納税を利用する人は多く、田原本の税収が減っているのではないかと危惧しています。
- FM まほろばを廃止すべき。SNS での情報発信が主流の現在、公費のムダ遣いと思えないし、放送内容も魅力がない。財政難が深刻な状態、すぐに廃止すべきだと思う。
- 行政サービスも土日休みではなく、土日や夜遅くにしか動けない人のために開いておいて欲しい。
- 国・県・市町村の罰金過料金の増額による行政の財源強化
- 市町村合併を検討するべきだと思う。田原本町のような小さな地方自治体では色々な面で難しいと思う。
- 青垣と町役場を連携させ、機能の再編を行うべきだと思う。町役場を窓口や行政機能だけでなく、市民の交流や町づくりの場、市民の居場所として将来整備していくべきだと思う。
- 長期ビジョン（5年、10年、20年後の町）作成

- 青垣生涯学習センターには無駄なスペースが多すぎる。町税の無駄遣い。
- 町の施設を利用する時に利益は出ないように。
- 町議会議員が高齢すぎます。古い方はお辞めになって後進に託すべきだと思います。
- 町の借金を0に近くしてほしい。役所の職員さんについては前例がない、した事がない、出来ませんその様な返事が多い。前例は作って下さい。
- 町発展のためなら知恵も金も使うのは大事だけど将来の町民に負担を残さないようにバランスの取れた運営を切望します。
- 施設の有効活用をしてほしい。公共建物の建て過ぎに思う。次の世代に借金のない町に。
- 政府や県の方針等には世界的な自由主義の拡大という要素が大きく地方にとってデメリットが多い。人新世の資本論のような理念を行政、議会が共有して学び進めることが基本として大切。
- アンケート回収が何で町役場でなく東京やねん。役場でないので税金のムダ使い。役場がちゃんと仕事して欲しい。
- 田原本町の財政悪化を改善する見通しを見せてほしい。
- 町税の使い方を見直しムダをなくす。公的施設を取り戻す（警察署、ゴミ処理場、税務署他）。
- 人口減少による税収減と高齢化による社会保障費の増加により、町の財政状況は厳しさを増すと思われます。限られた資源で質の高いサービスを維持するため構造的な見直しが不可決。行政体制の効率化。社会全体の活力性維持、向上。財政健全化の努力が数字に表れている。
- 田原本町独自の取組など、プレスリリースが少ない。奈良県などと共同して他県にないことをすすめていく。何かに特化したものが少ないので策定して進めていただきたい。総合計画の見直しが少なく、新規事業などの計画策定が弱い。
- 町会議員の削減（14→11名位）。町職員の職員数が多いのでは？（配置転換等必要）。町内各自治会により自治活動がゼロの所もあれば年間5,400円も支払い請求されるのは意味不明。
- もっとふるさと納税の返礼品を充実させ、田原本町の収入を増やすべきだと思います。田原本町の返礼品はあまりにも魅力がありません。
- 現在、町が具体的にどのような未来像を描いているのか分かりにくい。企業誘致について具体性がない。
- 田原本町でなく田原本市に移行したら良いと思う。市になれば移住を考える人も増えるのでは。